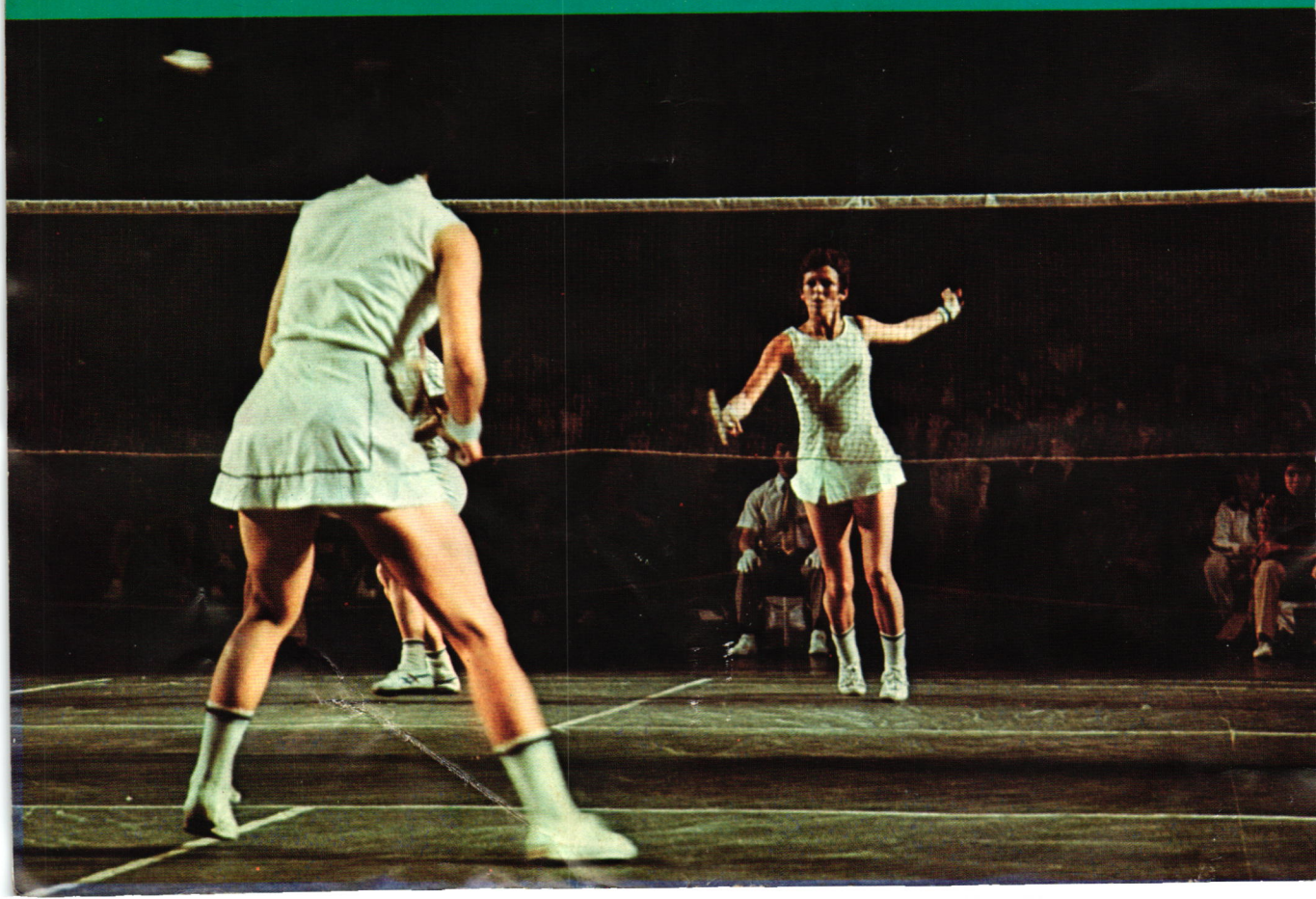
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和48年8月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

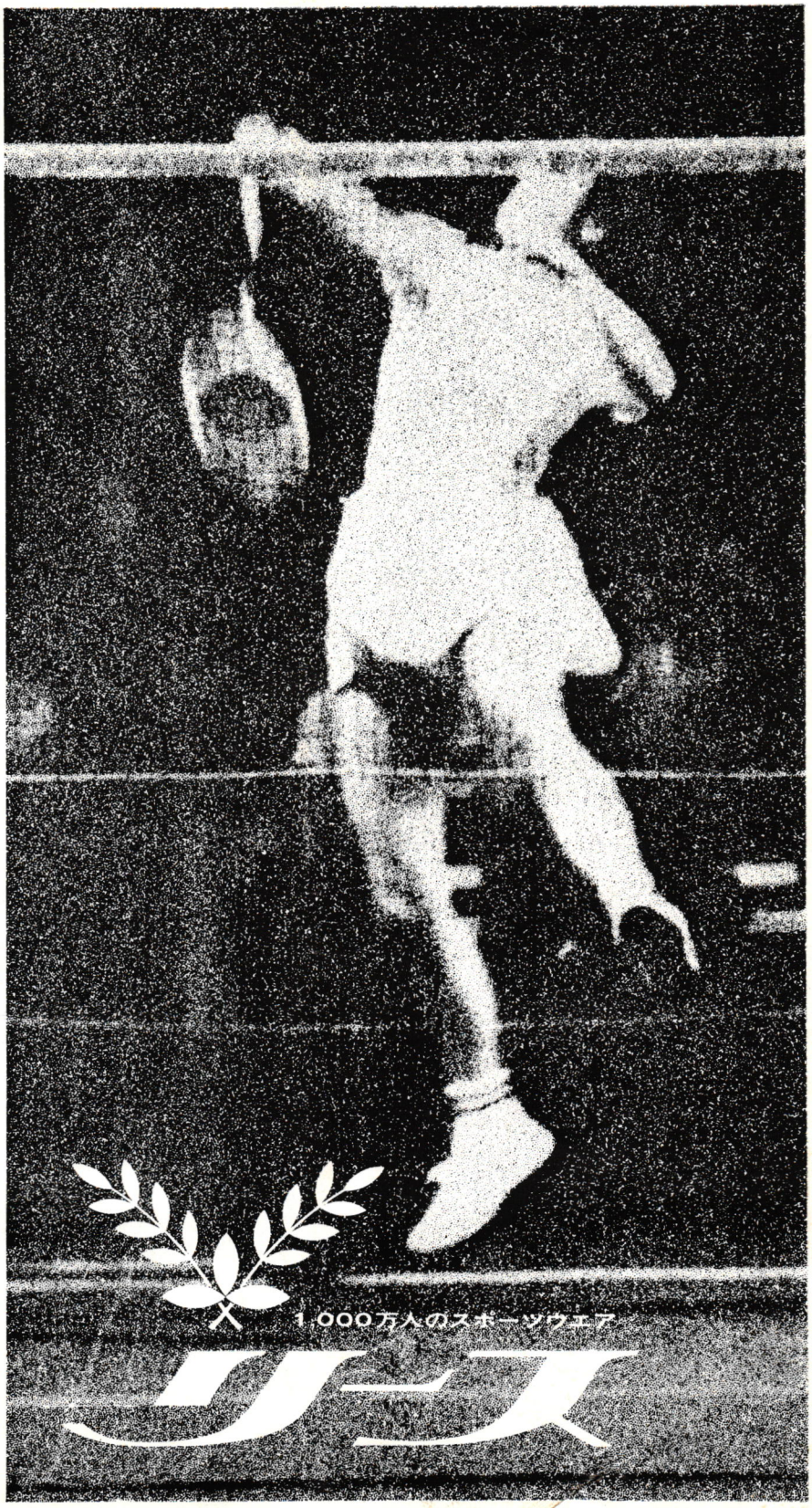
バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

46 AUGUST, 1973



この一瞬!!



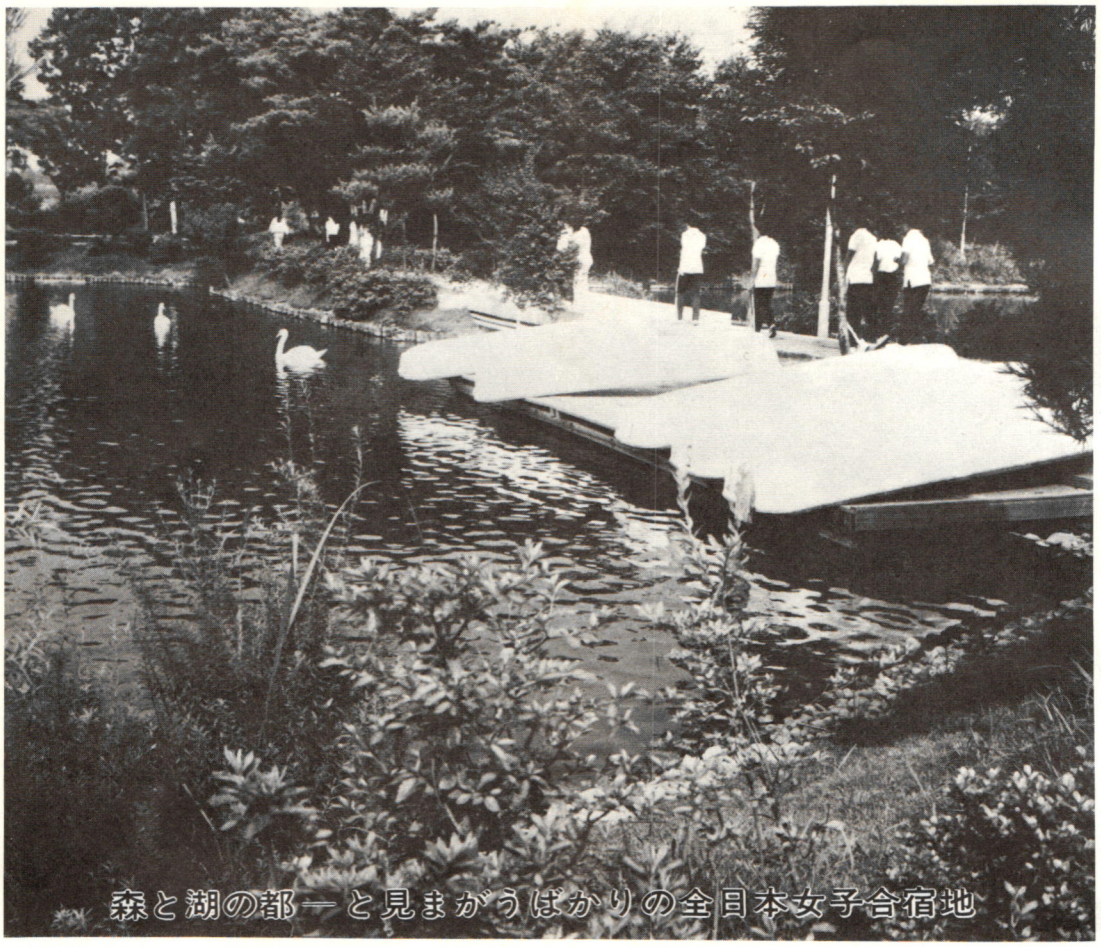
あなたはひかる――はげしい動き、ふき出す汗、すべての条件を
プレイヤー本位に満たすカワサキの〝リース〟はあなたのウエアです。

1,000万人のスポーツウエア

リース

K TOKYO

河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 電話(831)-1884・0453



森と湖の都―と見まがうばかりの全日本女子合宿地

バドミントン界

〈48年8月号〉

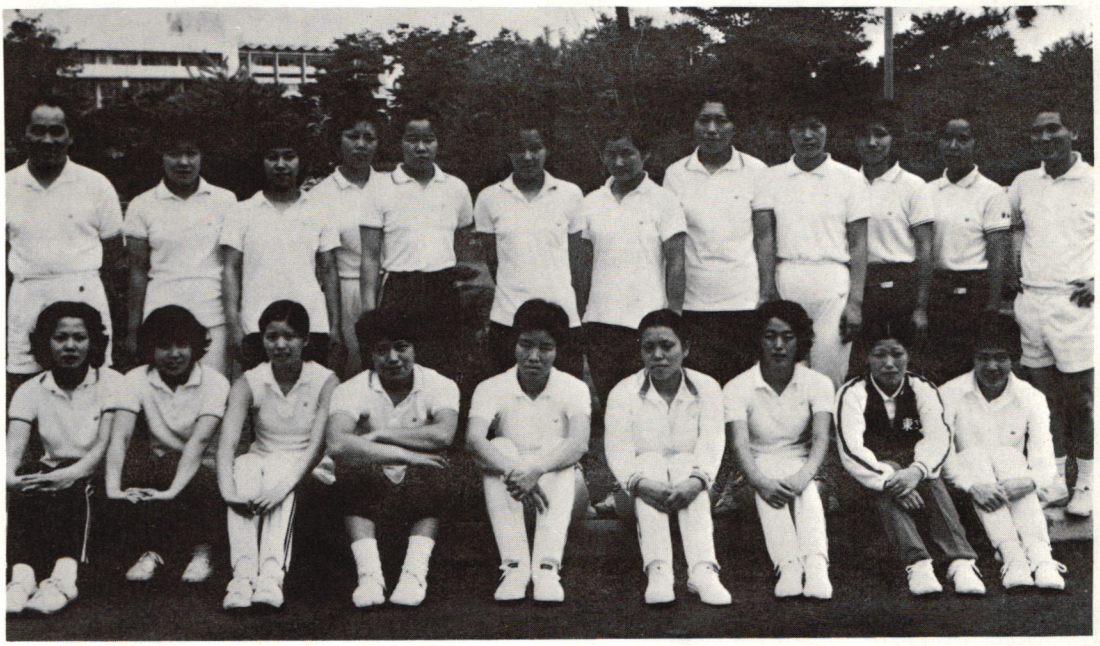
【特集】対中国戦全日本合宿
・女王の面目にかけて〝勝負第一〟……2
・合宿に参加して―女子選手の手記……4
・エラーを恐れず積極攻撃を―男子……6
☆写真グラフ〈日本的羽毛球美娘隊〉……17
【特集】続・中国の実力とその周辺
・ハルトノ以外対抗できず〈シェーラー氏は見た〉……8
・中国×英国4戦の全記録……9
・訪英中国チームとの20問20答……10
・日中対抗日程、入場料、放送ガイド……8
・中国来日メンバー決まる……7
☆全日本実業団選手権大会
・団体戦男子電電東京が11年ぶり、女子ヨネヤマが初優勝……12
・本間（トヨタ）湯木（カワサキ）が二連勝……14
☆シリーズ人間〈秋本三姉妹の父〉……26
☆北から南から〈機関誌に見る各地の活動〉
・埼玉県上尾運動公園クラブ……30
・滋賀県志賀町スポーツ少年団……32
・新潟県佐渡町協会……33
・私うまいのよ―小柳ルミ子さん……33
☆大会運営規定100問集……34
・レコード……36
・編集室……39
・今月の言葉……40
・協会推奨品一覧……35

スタッフ／表紙撮影・松井亮麿／同製作・小浜正道／グラフ写真・山田真市／その他写真・山田真市、協会関係者／編集・明本薫、瀬戸孝／協会・日本協会事務局、各加盟団体、愛読者

トップに自覚，若手に意欲

――女子全日本・益子強化合宿――

“女王”の面目にかけても“勝負第一”主義で



初の日中戦に備える日本チームの強化合宿が七月中ばの一週間、男子は富山、女子は栃木で行なわれた。この号が読者の手元に渡るころには、すでに日中戦も火ブタが切られていることだろうが、編集のつごう上、どうしても間に合わなかった点はお許しいただいて、今号では、日本代表がどのような準備と心構えで“本番”にのぞんだかをお伝えしたい。

× × ×

女子合宿は十九日―二十五日に焼きもの の名所、栃木・益子町の旭光学益子工場体育館（宿舎は同社員寮）で展開した。快適この上ない環境下での意欲みなぎる練習が重ねられ、若手の向上にかける力がテストされた。

第二の世界ペア（湯木、池田）育成に急ピッチ

この合宿は中国戦に備えての選手強化だが、それにはトップに続く中間層の成長が欠かせない条件であり、中国戦後、ユ杯へとつなぐ長期展望に立った場合は、なおさらのことである。

参加者の中には、ふだん機会に恵まれない、地方大会の出場者も多数いた。そこで、選手層を三つに色分けし

①トップには自発的な“やる気”を起こさせ、その自覚に立って精神面を強化する。

②中間層であり、次代のトップである人々には、徹底的に先輩のいい点を消化吸収させる。

③地方大会の出場者には個性に応じ、重点をしぼって長所を伸ばし、弱点を修正する。

――ことにした。以上いずれもほぼ成功したように思う。二線級には、明らかに一つの“姿勢”が見えてきたし、地方選手にも“やればできる”自信がついてきた。

実力的に選手層が三つに分かれるといっても、スピードそのものに、さほどの差があるわけではない。違いは、次の4点から来ていた。これは全国のあらゆるプレーヤーの参考になることと思うが、トップ以外は

⊙コースのとり方――クロスにコースをとることができない。

⊙同じ調子で打っている――チェンジ・オブ・ペースができない。

⊙チャンス球の捕え方が遅い――トップで打つべき時に、一呼吸（半歩）遅れるため、チャ

ンス球が逆にミス・ショットに化けてしまう。

⊙サービスが雑――従ってサービス・レシーブも雑である。

以上を共通の問題点として選手にいい含めた上でマッチ練習を重ねた。その上で、夜のミーティングで問題を拾い上げ、各人の弱点をお互いにいわせたりもした。

プレー中の具体的な目標としては、湯木のシングルスを見習うことをあげた。湯木はすでに完成期にさしかかって、かってないほど巧さを増してきた。そこで湯木自身には「どんな場合でも力を抜かず全力プレーし、力量の差を相手にはっきり自覚させるようにせよ」と指示した。

シングルス・プレーでは、次のことを習得の要点とした。

⊙無理な態勢で打つな。どうしてもシャトルを捕えるのが遅れるような場合は、相手コートの真ん中の奥へ振り戻せ。

⊙原則として直線的な攻撃、すなわちストレートからストレートへ攻めよ。



⊙つなぎ球は両サイドの奥へ入れよ。ただしクロスのネットリターンを警戒せよ。

⊙チャンス球は相手のボディーをねらうか、その左右を抜くかどちらかを選べ。

また、ダブルス・プレーにおいて注意したことは次のような点である。

⊙サービスをていねいに入れること。

⊙攻撃に積極的であれ。まず徹底的に上からたたけ。

⊙フォアにまわり込んで間に合えばクロスに持っていく。しかし、そのクロスカウンターをインターセプトされないように注意する。

⊙浅い球はボディーをたたけ。

ダブルスでは、相沢・竹中と並ぶもう一つの強力なペアを作りあげることが絶対必要であり今回、これを湯木・池田という組み合わせに求めた。そして湯木に対しては「怒ってもよいから、パートナーを思い切って打たせるようにせよ」と指示した。

このペアの活動の割合いは当初、湯木7、池田3だった。そこで池田の比重を4から4・5に高める必要がある。池田は前陣では何もしないプレーヤーなので、湯木が前に出てつなぎ、ボールをつくって打たせなければ生きてこない。

池田はいい素質を持っているが、欠点もまた多く、両サイド斜め前後に弱く、特にバックの斜め後ろで打点の落ちた球は弱いので、徹底的に鍛える必要があった。

最初はこのペアも西尾・秋本組に負けたほどだが、24日の試合では相沢・竹中組に勝ち、どうやら軌道には乗ったようだ。

(注)合宿には次ページ手記提出者の他、塩崎(日女体大‖所要で一日早く帰京)が参加。

日中対抗を前にして

日本協会競技力向上委員長　遠井　稔男

福井正康、関根義雄、山本洋彦、小林歌子各氏らのご協力のもと、無事、所期の成果をあげて合宿を終了することができた。

中国のプレーに関する資料は必ずしも十分とはいえないが、ある程度は理解できているつもりなので、それを考えながら選手の力を引き出すようにつとめた。中国恐るべし、との噂もあるが、女子はユーバー杯保持国であり〝勝負第一〟に考えなければならない。

トップ同士、実力均等同士の対戦カードによって、彼我の力をはっきりさせることが、両国にとって、また多くの愛好者に対して、正しくこたえる道であると思う。さいわい、モットーに掲げた積極的攻撃、トップ・レシーブ、早いタイミングは選手の中に滲透してきた。

末尾ながら、今回の合宿に寄せられた旭光学関係者の、かって例を見ないご厚志に、深く感謝を捧げるものである。



女子選手団の手記

カワサキ　湯木　博江

初めに、旭光学の方々に、心からのお礼を申し上げなければならない。私も数々の合宿を経験したが、これほど、いたれりつくせりのご厚意を受けた合宿はありません。

実業団の中に、このように理解ある職場があるということを大変うれしく思いました。ますますこの職場のバドミントンが普及発展していくことを祈っております。

主将という肩書をいただいて合宿が始まりました。この一週間がどのように展開し、その中で自分がどのように反応し、進んでいくのか、大変、自分自身に対しての興味がありました。それにしても、終わってみるともう少しどうにかなったのではないか、学生時代の主将のような気分で過ごしてしまった…と反省しております。

逆にいうと、主将の責任というものの大事さ、重さを痛感させられました。中山さんが現在いない状態なので、相沢さん、竹中さんなどと協力しながら、日中戦、そして次期ユーバー杯へと、まっしぐらに進んでいかなくては、と考えています。

そして、その不動の地位を確保し続けるには、若手をがっちり育てること、合宿に参加した伸びざかりの人々を、一日も早く国際レベルに押し上げていくことだと思います。

それには、私達と対戦する回数をできるだけ多くしていくことです。所属単位のワクの中で争っていては、二歩進めるところが、一歩で終わるのではないでしょうか。

遠井先生とご一諸するのは今回で二度目でしたが、いろいろ勉強させていただきました。自分のプレーについて、そしてバドミントンというものについて自分の足らない点がたくさんあり、これからも、見たり聞いたりして、学んでいきたいと思います。

よろしく、ご指導をお願いいたします。

ヨネヤマ　相沢マチ子

実業団の終了直後の合宿だけに、腰の具合、体力などで心配がありましたが、無事、乗り切ることができました。以前に大きな故障を起こしていると、知らず知らず憶病になりがちです。今回の合宿は、その意味で大きな自信になりました。

スポーツ・トレーナーとしての遠井先生のすばらしいご指導を受けたことも、大変な収穫でした。

ヨネヤマ　竹中　悦子

実業団での疲労から、シングルスをやれなかったことが残念ですが、ダブルスで多くの対戦相手と集中した練習ができたことで、充実感がありました。東京での自分たちの日常の練習の中では、甘さの出ることがままあり、反省させられています。

遠井先生から運動生理、理論などの新しい知識を得、シングルスでもメンタルな勉強ができました。

日女体大　池田　美加

環境、空気もよし、緑も多く気持のよい所でした。

生活面、食事に大変、気を使っていただいたこと、その他いろんなことにご親切にしていただいたこと大変感謝しています。

技術、ひとつひとつの基本がまだ出来ていないことを痛感しました。

日体大　西尾真理子

三日目でダウンしたほど体力がなくなっていたことが情けなく冬期以来のトレーニング不足を反省しました。今回は肩の痛みがひどくなかったのですが、肩を痛めるところにフォームの欠点が必ずあるわけで、そこを直す必要があります。

湯木さん、竹中さんがいわれたように、努力して回数をたくさん打つことがトップへの道。これを忘れずがんばります。

日体大　秋本八代美

湯木・池田×竹中・相沢のダブルスから——ゲーム運びのうまさ、特に挽回する時のムード作りと集中度のすばらしさ。それと、前衛の役割がいかに大切か、予見の重要性、パートナーが何を目的に打っているかを知ること…竹中・相沢さんのダブルスには本当の心のつながりがあります。私達も、どこでこれだけの差が出るかを考え直して少しでもよいペアに近ずきたい。

益子合宿に参加して



日体大　谷　美津代

こういう合宿は初めてなのですべてがタメになりました。一番よかったのは、ミーティングでいろんな人からプレーについての話が聞けたことです。選手のプレーのタイプもさまざまでしたが、私はどのタイプの人に比べても体力的についていけなかったようです。見たこと学んだことを頭に刻んで忘れないようにしたい。

カワサキ　柴山きよ子

自分のプレーに対する動きのスピードが、まだなかった。シングルスができなかったのは残念でした。他の人が一生懸命やっているのに自分ができないと本当に悲しい。学んだことを整理し、目の前の湯木さんを目標にがんばっていきたい。

電電東京　石崎　茂子

よい環境の下、職場の皆さん寮生の方々の暖かいご支援本当にありがとうございました。合宿は何回か経験がありますが今回のような充実は初めてです。ラケットワーク、レシーブの読みなど未熟な事が多いので今後も強い人との練習で勉強していきたい。

日体大　佐伯　智子

最初から捻挫などして出遅れ残念でしたが、トップの人たちのプレーを見て自分との違いを思い知らされ、ミーティングでも自分の欠点がよくわかりました。肩を故障するのも、この辺に理由があるのだと思います。

旭光学　藤井由美子

全日本の方々とプレーできて本当にうれしかった。技術面で気づいた点は多く、全部直さねばならぬほどで恥かしい。印象に残るのは①コートに入ると目の色が違う②スマッシュにスピードがある③自分からのミスが少い。いま自分が特にほしいのはスマッシュのスピードです。

旭光学　沼能　久子

ナショナルチームの方と一諸は夢のようで、最初は緊張のしっぱなしでした。うまい人ばかりなので神経も疲れて一試合するとハーハーです。日頃の練習の足りなさを痛感しました。少しスマッシュのスピードがついた気がします。学んだ事を一つでも多く身につけていきたい。

トヨタ自工　池田　静江

すばらしい環境と人に囲まれて大変幸福でした。一流プレーヤーの方々とご一諸するなど、もう二度とないと思いますので、ここで覚えたことは会社に帰ってもよく勉強していきたい。ダブルス前衛の処理は特にマスターしたいと思います。

三菱造船長崎　柿本　彰子

快適な環境、ピリッとした生活と行動。会社を一週間休んで無理して出てきたかいがあったと思う。持病が出て思い切りやれなかった面もありますが、一流の皆さんのプレーを少しでも自分の中に生かしていきたい。

樋口事務所　樋口　省子

合宿という緊張が快適な環境で洗われたような気がします。特に寮生の方々のご親切は忘れられません。スマッシュをクロスにしか返せなかったのが、少しストレートに返せるようになりました。スマッシュは打点を変えていろいろやってみたい。

福岡大　松尾　淑子

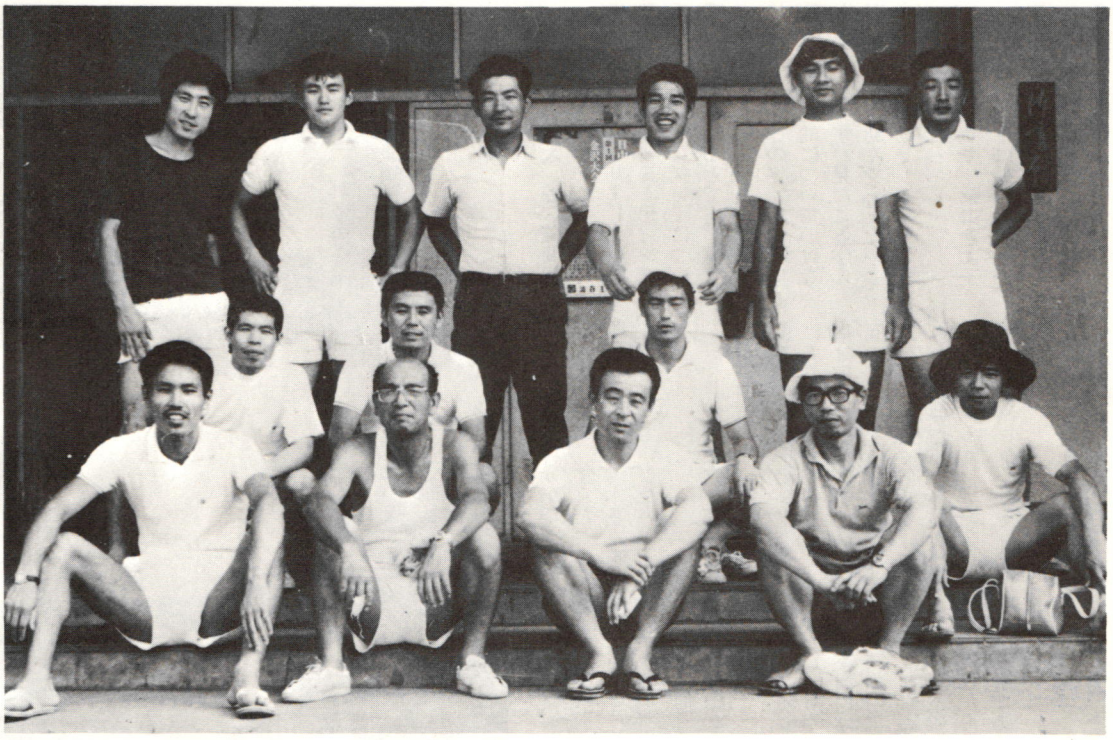
気持よく生活でき満足でしたプレーでは関東の実力、九州との違いもよくわかりました。今まで気づかなかった自分の大きな欠点を見つけ出すことができただけでも、大変意義のある一週間でした。

豊田自動織機　富井　康子

いたれりつくせりの会社の方々のご厚意に深く感謝します。参加するに当たり、まずは皆さんについて行こうとそればかり考えていたせいか、ややプレーが消極的だったと思います。ダブルスを組むのは初めてでしたが、今後、トップレシーブの形を取り入れていきたい。

青陵高校教　堀川栄美子

今春、大学卒業と同時に教師生活に入ったため、選手というよりもコーチ的な考えで過ごしてきたため、前よりは自分の目が肥えたようです。再びみんなの力、プレーを見ることができ安心して、また練習に対する張りが出ました。若手の気迫にたじたじの連日でしたが…。



ミスを恐れず積極的攻撃を

――重点，ダブルスのコンビ練りあげ――

一方、男子ナショナル・チームの合宿は、七月十九日から二十五日まで、富山県富山市の興人富山工場体育館（宿舎・富山市新川原町新よし旅館）で行なわれた。

日本協会から役員として競技力向上委員会の伊藤基記副委員長、市川和司、板垣隆房両委員らがコーチング・スタッフとして参加した。選手は別記の通りでナショナル・チームのうち、小島、秋山の両ベテラン、新人の銭谷、日本選抜選手に指名された中井の各選手は、それぞれの所用などで出席できなかった。

男子は中国優勢の声が強いだけに、炎天下ものかわ、連日、激しい練習が展開され、多大の成果を収めた。次に、合宿のもようを、総括責任者・伊藤基記氏のペンによってお伝えしよう。

男子〈富山合宿〉レポート

日本協会競技力向上副委員長　伊藤　基記

短い合宿期間ではあったが、これを前、後半の二期に分けてみた。参加者はみな、日本を代表するトップ級選手であるが、昨年のト杯終了後、ナショナルチームとして一堂に再会するのは九カ月ぶり。とくに、中国は動きも打球もスピードがあり、バネ強じんにしてスタミナ豊かという評判であり、これに対抗し、乗り越えていくには、なまなかのことではダメである。という観点から、基本的ではあるが高度な問題の点検を心がけ、さらには、ダブルスのペアの固定化とコンビの協応を重点とし全体を通じては〝積極的攻勢〟を終始、強調した。

十九日は午後一時、現地の体育館に集合、さっそく、軽いトレーニング後、各種基本的ストロークの練習に入り、ダブルスシングルスの乱打、そして最後に1ゲームずつの練習試合をもって締めくくった。

翌二十日は、次の諸点を各役員から注意、指示を与えて、ペアをさまざまに変えながら、ダブルスのゲームを行なった。

⊙シャトルから目を離さぬこと。
⊙サービスの際のかけひき、呼吸を大切にすること。
⊙ネット際に突込むチャンスをのがさぬこと。
⊙ダブルスにおいては特に前衛の動きが大切である。絶対に前陣を素通りさせないような動きを身につけねばならない。

主な日課表

7：00	起床
7：30	体操，散歩
8：00	朝食
9：30	試合，練習
12：00	昼食
15：00	試合，練習
10：00	入浴など
19：00	夕食
21：00	ミーティング
22：30	就寝

⊙2人のコンビでダブルスになる原点にかえって、動きを検討すること。

⊙いたずらにミスを恐れず、思い切って動く。その中に進歩の道を求めること。

役員としては、近くは、対中国、さらに後に続く卜杯のダブルス・ペアをどういうふうに組むかの決定を迫られている。逆手のペースをこわさぬ範囲で、ある程度のテスト的ゲームを行い、そこになんらかのよりどころを見つけようと努力したわけである。体力、技能、性格、職場、などを勘案する必要があり、頭の痛いことではあった。

二十一、二十二日（二十二日は午後、自由練習）で前半を終わり、二十三、二十四日、二十五日の後半は、ダブルスのペアを大体固定して、そのコンビの熟成をはかったつもりである。

それぞれが持っている弱点については、板垣君はじめ役員の方から、相当厳しいアドバイスがなされた。

シングルスについては、ホーム・ポジションをもう一歩、前に出すことを最も強調した。なお、クリアの不正確さについては、特に反省を求め、認識を新たにした。

全体として、逃げたり、つないだりすることよりも、積極的に攻めることを指示の基調としたつもりである。

富山としては、まれだといわれる暑さの中に、選手諸君は弱音一つはかず、よくがんばったと思う。次の合宿まで、トレペニングは各自が責任を持つことで、散会した。

富山トヨタ自動車株式会社の取締役社長・品川忠三郎氏、同人事労務部長兼総務次長の中川昇氏、教育図書出版の教育統計会の洒井良悦氏を特別として、内多富山県理事長、川上市理事長をはじめ、教え児の成長に眼をほそめる不破先生、と文字通り、富山の県市の関係者をあげての、誠意溢れるご支援に対し、この紙上を借りて、厚くお礼を申しあげておきたい。

なお、二十三日の午後、洒井良悦氏の運転する車のお世話によって、内多理事長先生のご同導で、故森本一雄先生のお宅を訪れた。その遺骨とその遺影を前にして、その余りにも突然のご逝去に、驚きかなしむほかはなかった。

特に、熊本国体の折りに、富山県が総合優勝された関係上、「熊本はゲンがよい」と、口にしておられ、私なども、いろいろと教えていただいたことを、いまさらのごとく思い出して感無量であった。

申し遅くれたが、地元ということで、池田君が、さまざまと細かいことに気をくばってくれたお蔭で、合宿がとてもスムーズにいった。その心づくしを私は忘れたくないと思っている。

▽合宿参加者　梅野尾、田所池田、本間、今泉、谷口、遠藤（欠席は小島、秋山、銭谷）＝以上ナショナルチーム

森田、松下（旧姓沢田）長谷川、木戸、尾崎＝以上自費参加

右ページ写真は教育統計会の洒井良悦氏提供

中国代表メンバー決まる

中国代表バドミントン・チームの来日メンバーがようやくわかった。孫藍女史を団長に、役員九、選手男女各八人の総勢二十五人。選手は湯仙虎、侯加昌、陳玉娘など、最近の対外試合で活躍しているトップ級のほか若手を加えた編成。来日は二十九日の予定。

なお日本の代表選手、男女各八人も決まった。

〔役員〕▽**団長**＝孫藍（46歳）協会副秘書長▽**副団長**＝魯明菜（44歳）協会秘書▽**副団長**＝王福生（38歳）中国人民対外友好協会理事▽**通訳**＝随華義（27歳）北京第二外語学院教師▽＝王英蘭（34歳）全国体育総会工作員▽**医師**＝周龍雲（37歳）北京体育学院医生▽**医師**＝曽昭渡（36歳）北京体育学院医生▽**コーチ**＝王文教（39歳）北京体育院教師▽**コーチ**＝陳福寿（41歳）北京体育学院教師

〔男子選手〕▽湯仙虎（31歳）全国体育総会福建省分会工作員▽侯加昌（30歳）広州業余体育学校コーチ▽方凱祥（33歳）広州市六十中学教師▽陳天祥（29歳）福州市小学教員▽呉俊盛（36歳）福建羽毛球工廠工人▽陳新輝（21歳）北京体育学院学生▽庚輝東（21歳）北京体育学院学生▽周克倹（24歳）北京体育学院学生

〔女子選手〕▽陳玉娘（27歳）全国体育総会湖北省分会工作員▽梁秋霞（23歳）北京体育学院学生▽劉暁征（26歳）福州市実験小学老師▽林有雅（25歳）福建羽毛球工廠工人▽丘玉芳（24歳）福建羽毛球工廠工人▽鄭恵明（24歳）上海師範学院体育系学生▽許慧玲（23歳）北京羽毛球廠検験員▽李芳（17歳）長沙市二十五中学生

日中対抗の日程は44号でお知らせしたものと、一部日程（時間）が変更になったものもあるので再録、入場料金、テレビ放映予定も紹介した。テレビの時間帯は、場合によっては多少、変わることがあるので、当日の新聞などで確かめること。

〔9月2日〕東京＝男女
12時・代々木第二体育館
☆入場料＝S2千円、A1千円、B5百円
☆テレビ＝12時東京12、14時NHK

〔9月4日〕大阪＝女子
17時半・大阪市中央体育館
☆入場料＝S2千円、A1千円、B一般7百円、B高校以下4百円、C3百円
☆テレビなし

〔9月7日〕長崎＝女子
16時・長崎市民体育館
☆入場料＝特2千円、A1千円、B一般7百円、B高校以下4百円、C3百円
☆テレビなし

〔9月8日〕札幌＝男子
17時・県スポーツセンター
☆入場料＝特1千5百円、S高校以下8百円、普通一般1千円、普通高校以下6百円、普通小中学生3百円
☆テレビ＝なし

〔9月9日〕福岡＝女子
13時・福岡市民体育館
14時、真駒内屋内競技場
☆入場料＝S2千円、A1千円、B5百円
☆テレビ＝14時NET

〔9月11日〕金沢＝男子
17時・石川県体育館
☆入場料＝特2千円、指A1千5百円、指B1千円、自A高校大学5百円、自B小中学生3百円
☆テレビ＝16時30分NET

〔9月13日〕名古屋＝女子
17時・愛知県体育館
☆入場料＝特2千円、指A1千5百円、指B1千円、自5百円
☆テレビ＝　時東海テレビ

〔9月14日〕前橋＝男子
17時・県スポーツセンター
☆入場料＝A一般1千5百円　A高校以下1千円、B一級1千円、B高校以下5百円
☆テレビ＝19時東京12

〔9月16日〕横浜＝男女
☆入場料＝S2千円、A1千円、B5百円
☆テレビ＝12時15分NTV

日中対抗の日程、入場料、テレビ

シェーラー氏が見た中国

ハルトノ以外対抗できず

一頭地を抜く男子の侯、湯　女子はまだ日本に分

中国ナショナル・チーム（男子六人、女子四人、役員五人）の一行は、今年初め、デンマークと英国を計三週間にわたって訪問し、各4試合に4戦全勝した。この対戦を見たIBF（国際バドミントン連盟）のシェーラー名誉主事が「ワールド・バドミントン」誌上に、長文の観戦手記を載せているので、以下に要旨を紹介した。

シェーラー氏はIBFで有数の国際通であり、この一文の中で中国男子は現在「最高水準にあり、その中のトップの二人と対抗できるのはハルトノしかいない」と述べ、女子については、総合力からいって「日本の方に分がありそう」と見ている。

（後藤忠弘）

中国はシングルスのレベルはきわめて高く、中には全く負かしがたいと思われる選手も何人かいた。しかし、ダブルスは男女ともに一組ずつを除くと、他の国の最高のペアより必ずしも強い、とまではいえない。これが簡単な結論である。

男子シングルスの両エース、侯と湯に対し、互格に戦えるのは、多分ハルトノ（インドネシア）だけだろう。しかし、ハルトノがこの二人、または一方に必ず勝てるという保証はない。

この二人は三十歳を越えているが、とてもその年には思えないほど、はつらつとして元気がある。特色は、動きが早い、ということだ。恐らく現役のプレーヤーの中では一番早いのではないか。

動きが早いということは、足が速いということだ。足が速いため、ネットへ出る時間が短くてすむ。攻守のタイミングが早くなる。ドロップ・ショットは最もデリケートな、トップからのショート・ドロップを得意とし、打つというよりは、突き刺す感じで、ネットの至近距離から至近距離に落す。

強い手首からの攻撃的なドリブン・クリアもすばらしく、相手は、これに手の届くのがせいいっぱいであった。湯選手は、このほかカットもうまく、これでしばしば相手をひっかけた。選球眼、ラインぎりぎりの球に

対するイン、アウトの目が確かで、しかもその判断が早い。

男子ダブルスは侯・湯で組んだペアが全勝したが、スコアが示すように、中味はそれほど圧倒的ではなかった。欧州では週に一回ぐらいの割りでパートナーを変えることも珍しくはないが、彼等は終始同じペアでありその不動のメンバーという点の強味も計算に入れなくてはならない。

このペアに続くのは方(32歳)と陳(28歳)の組。シングルスで方選手は全勝した。陳はエーロ・ハンセン(デンマーク)に大差で勝ったとはいえ、力は三人よりは落ちる。二人のダブルスはカガード、ビーチャー(デンマーク)の組に危うく負けるところであった。

これらに続いては周(23歳)林(23歳)の二人がいるが、デンマークでは彼等は勝てず、英国戦では員数外でベンチから勉強していた。この二人が完全に男子のNO5、NO6であるのか、ホープとして経験を与えるために送り込まれたのかは、はっきりしない。

以上、男子を総合すると、次のようなことがいえる。

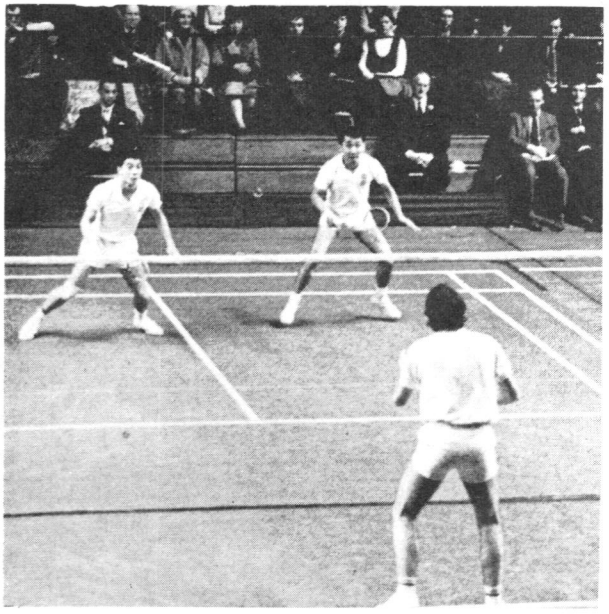
①現在、国としては世界の最高水準にあるが、

②トップ級が30歳を過ぎていることからして、今後、長くは続かない。

③続く選手が現在のトップの地位をとって代わるには、まだ時間がかかる(現に昨年五月、カナダと対戦したとき、トップ以外の選手は負けている)。

一方、女子は男子ほどに卓越した存在ではない。シングルスはかなりうまいが、ダブルスは欧州のトップ級ペアほどにはよくない。

シングルスでの彼女らの守備とフットワークのスピードには嘱目すべきものがあるが、ギルクス夫人(全英選手権二位)がダブルスで示した、高さのある鋭い攻撃に対しては、相手はほとんど無力であった。総合力からいって、中国女子が日本と肩を並べる力がある。とまではいえない。混合ダブルスは、あきらかにキャリア不足といえる。デンマーク戦のときのデンマーク・ペアは〝寄せ集め〟だったため、かたなしだったが、英国との試合では、英国ペアの方がすぐれていると思われた。



侯加昌、湯仙虎のトップが組んだダブルス

英国、男子単で1勝もできず
〝女王〟ベックも4戦全敗
――英国×中国の完全記録――

◇第1戦(ロンドン)
中　国 5－2 英　国

▽男子シングル
○湯　仙虎 15－2 15－5 スチブンス
○侯　加昌 15－4 15－7 タルボット

▽男子ダブル
○方　凱祥 15－5 スチブンス
陳　天祥 15－5 トレジット
侯　加昌 15－2 タルボット
○湯　仙虎 15－5 スチュアート

▽女子シングル
○陳　玉娘 11－4 11－7 ベック

▽女子ダブル
陳　玉娘 9－15 ギルクス ○
丘　玉芳 9－15 ベック

▽混合ダブル
陳　天祥 14－15 エディ
劉　暁征 8－15 ギルクス ○

◇第2戦(ブリストル)
中　国 5－3 英　国

▽男子シングル
○陳　天祥 15－11 15－6 スチブンス
○湯　仙虎 15－4 15－2 タルボット

▽男子ダブル
侯　加昌 8－15 15－11 15－12 タルボット、ギルクス ○
○陳　玉娘 11－15 18－13 15－11 ベック、ニールセン

▽女子ダブル
陳　玉娘 11－15 ギルクス ○
丘　玉芳 18－13 15－11 ベック

▽混合ダブル
劉　暁征 4－14 ハシュマン、ニールセン ○
雷　永勇 9－15

◇第3戦(バーミンガム)
中　国 7－1 英　国

▽女子ダブル
○侯　加昌 18－13 スチブンス
湯　仙虎 15－9 トレジット
○方　凱祥 15－12 エディ
陳　添祥 15－6 サットン

▽女子シングル
○劉　暁征 11－6 11－4 ベック

▽男子ダブル
○方　凱祥 15－5 スチブンス
陳　天祥 15－5 トレジット
侯　加昌 15－2 タルボット
湯　仙虎 15－7 スチュアート

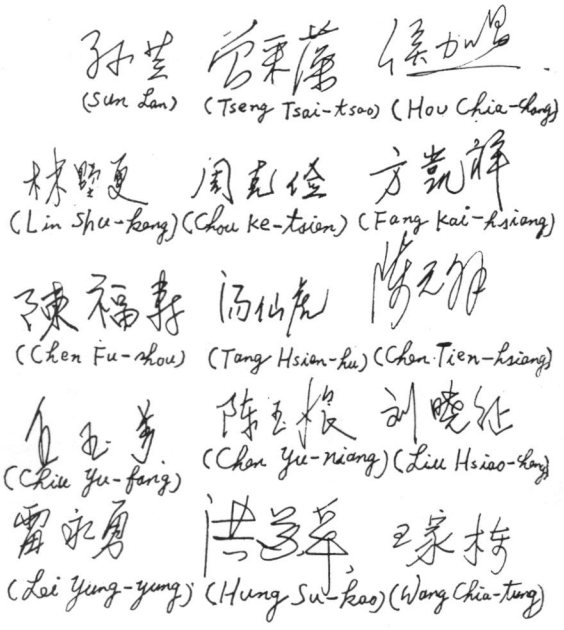
▽男子シングル
○陳　天祥 15－1 15－5 エディ

▽男子ダブル
○侯　加昌 15－8 15－10 トレジット、スチブンス
湯　仙虎 15－2 15－3 スチュアート、サットン
○方　凱祥
陳　天祥

十二、三歳で始めるのが多い

中国のバドミントンの本格スタートは戦後

――訪英チームとの20問20答――



バドミントン・ガゼット誌から

「バドミントン・ガゼット」（英国協会機関誌）73年2月号は、ことし一月に英国を訪問した中国ナショナル・チームとの親善試合を特集した。

以下は一月十五日、ロンドンのピカデリー・ホテルで、レセプションに先立って行なわれた記者会見の20問20答である。中国チームからは団長の孫夫人、男子を代表して侯加昌、女子を代表して陳玉娘の両NO1選手が出席した。質問には主として孫夫人が答えたが、これが中国バドミントン界を少しでも知る手がかりになればさいわいであると考え、転載してみた。

（後藤忠弘）

――バドミントンが中国で本格的にプレーされるようになったのは、いつごろか。

答 歴史はそんなに古くない一九四九年からである。

――主として、どの地方で盛んなのか。

初の国際試合は五六年

インドネシアと対戦

――バドミントンの対外試合が始まったのは、いつごろからのことか。

答 最初の国際試合は一九五六年、対インドネシアだった。

――それ以後、インドネシアと対戦したことは。

答 三度ある。一九六三、六四、六五年だ。（注、どちらが勝

答 アイスホッケーと対照的に、南部地域で最も盛んだ。しかしもちろん、北部でもかなり行なわれている。

――競技人口はどのくらいか

答 よくわからない。というのは、中国のバドミントン協会は、個々のプレーヤーを登録させたり会費をとったりしていないからだ。プレーヤーは自由に大きな町にあるホールに行ってプレーする。

――卓球とくらべると、バドミントンの普及度は。

答 卓球の方が問題なく普及度は高い。室内だけでなく屋外でもやれること、従って寒い地方はダメというような地域差がないからだ。

――全英選手権に参加しないのか。

答 今回の訪英は親善訪問試合のためであり、一月二十六日（注、記者会見は一月十五日に行なわれた）に帰途につく予定なので、全英選手権には出場しない。

▽女子シングルス
○劉 暁征 11-8-11 4 ベック
▽女子ダブルス
陳 玉娘 3-15 ギルクス
劉 暁征 10-15 ベック ○
○丘 玉芳 18-16 ニールセン
雷 永勇 15-12-15 11 ハシュマン
▽混合ダブルス
○湯 仙虎 18-15 タルボット
陳 玉娘 15-5 ギルクス
◇第4戦（カーライル）
中 国 7-1 英 国
▽男子シングルス
○侯 加昌 15-15 1-1 スチブンス
○方 凱祥 15-15 6-4 アーサー
▽男子ダブルス
○侯 加昌 15-3 タルボット
湯 仙虎 15-11 スチブンス
○方 凱祥 15-11 エディ
陳 天祥 15-7 サットン
▽女子シングルス
○劉 暁征 11-11 4-5 ベック
▽女子ダブルス
陳 玉娘 7-15 ベック
丘 玉芳 3-15 ギルクス ○
○劉 暁征 15-3-15 11 クーパー
雷 永勇 18-13 ニールセン
▽混合ダブルス
○湯 仙虎 17-15 タルボット
陳 玉娘 15-6 ギルクス

ったか、今回の選手団からは、はっきりした答えがなかった）

――その他、試合した国は。

答　六五年にデンマークとやって勝った。それから昨年、相互訪問でカナダと二度対戦、今回も訪英の途中、デンマークに寄ってプレーしてきた。

――デンマークとの今回の対戦の結果は。

答　4戦し、10―0、8―2、8―2、8―2で勝った。

用具は国産愛用
あまり盛んでない混合ダブルス

――英国の会場施設などについて、どう思うか。

答　私たちは普段、中国ではもっと大きい体育館で試合することが多い。コートが約20面とれる。英国の会場は暖いので気に入っている。

――あなた方のような一流の選手を生み出すには、指導計画が確立されていると思うが。

答　もちろん、スポーツは指導者を抜きにして考えられない。しかし、ご承知のように解放前は、中国人民は貧乏ひまなしの状態で、ほとんどスポーツをする時間がなかった。多くの人々が、主として健康のためにプレーするようになったのは最近である。

――バドミントンを始める年齢は。学校時代か。

答　それは学校によって違う。ある学校ではバドミントンに力を入れているし、ある学校ではバスケットというように。そういう学校の生徒は十歳ぐらいから始めるが、大多数のスタート年齢は十二、三歳だ。今回の訪英チームの選手のうち五人は教師をしている。

――中国は卓球が世界のトップであり、恐らくはバドミントンもそうだと思うが、その他、発展を続けている競技は。

答　サッカー、バスケット、バレーが非常に盛んである。その他では体操、アーチェリー、陸上といったところだ。アイスホッケー・チームも欧州に遠征（注、世界選手権）した。

――バドミントン用具は中国製か。

答　しかり。シャトルの生産が多いし、ラケットも国産品を使っている。

――大きなトーナメントが国内で行なわれているか。

答　しかり。全国の各地でさまざまな試合が行なわれる。そこから特別な指導を受けるプレーヤーが選抜される。

――中国選手権大会は。

答　昨年は北京と、もう一つ南部で六月に行なわれた。二百人以上が参加した。

国産ラケットを手に勢ぞろいした中国訪英チーム。バドミントン・ガゼット73年2月号から

スポーツを通じ
世界中と友好深めたい

――女子プレーヤーも多いか。

答　具体的な数字はわからないが、女子プレーヤーもきわめて多いのは確かだ。

――混合ダブルスは盛んか。

答　いや、あまりやらない。

――中国のように国土が広くては、ナショナル・チームを一カ所に集めて練習をひんぱんにやるのがむずかしそうだが。

答　そんなことはない。交通機関がめざましく発達したから。

――IBF（国際バドミントン連盟）に加盟する考えは。

答　私たちの目的は、スポーツを通じて全世界の人々と友好を深めることだ。IBFは私たちの正当な権利を、蔣介石政権（台湾）に収奪させたままにしている。これはばかげたことで不合理である。中国は一つしかなく、それは中華人民共和国であり、台湾は中国の一地域にすぎないことを、だれでも知っているはずだ。二年前、すでに国連からは台湾が追放されている。しかしIBFは、この事実を無視している。他の競技では台湾を除名する動きもあるが、バドミントンでは、中国に対し友好的でない態度をとっている人もいるようだ。



第23回全日本実業団選手権大会＝石岡市

本間（トヨタ）、湯木（カワサキ）が三連勝

団体戦　男子・電電東京が11年ぶり、女子・ヨネヤマは初優勝

複は梅野尾・木戸組と相沢・竹中のヨネヤマ勢が優勝

第23回全日本実業団バドミントン選手権大会は、7月8日から13日まで、茨城県石岡市において11種目に熱戦がくりひろげられた。

連日30度を越す暑さのうえ、選手の熱気で会場の温度はうなぎのぼりであったが、各種目に好試合が展開され、会場を大いにわかせた。

男子シングルスでは本間（トヨタ自工）が小島（ヨネヤマラケット）を、女子では湯木（カワサキラケット）が竹中（ヨネヤマラケット）を、それぞれファイナルゲームの末破り、三年連続優勝をとげた。ダブルスでは、男子＝梅野尾・木戸組（ヨネヤマラケット）、女子＝相沢・竹中組（ヨネヤマラケット）、混合＝堺・湯木組（カワサキラケット）が安定した力を発揮し、栄冠をものにした。

また、30歳以上シングルスでは、吉田（日立戸塚）が、かつての全日本チャンピオン・トマス杯選手の宮永（明治生命）をストレートで降し、ダブルスでは堺・大野組（十条伏木）が、40歳以上シングルスでは、浜中（丸善石油松山）が、ダブルスでは、横井・谷口組（クラレ西条）がそれぞれ優勝した。

北辰・健闘、トヨタ下す

男子団体戦は、北辰電機（東京）が、ベテラン山本の活躍でトヨタ自工（愛知）を降し、ベスト8に進出するという健闘をみせた。

決勝は、電電東京（東京）とヨネヤマラケット（東京）によって争われた。

ヨネヤマラケットはエース小島がシングルス一本にしぼって出場、田所を破って大いに盛りあげたが、第2シングルス木戸の、途中棄権というアクシデントで、あっけない幕切れとなった。電電東京の優勝は11年ぶり。

◇……男子団体……◇

▽準々決勝

○梅野尾 15-8 黒崎 木
15-2
○小島 11-15 15-5 山本 佐藤
15-5

○河村 15-7 浅見 研
高岡市役所 3-1 スワロー化
○今泉 15-5 水川 越
関牧 15-5 5-15 遠藤○ 尾
14-17

○京田 15-8 15-3 浅見
○今泉 15-0 2-15 鷲尾
ヨネヤマラケット 3-0 北辰電機

▽準決勝

○梅野尾 15-0 15-3 堀越
電電東京 3-0 関東自工
○田所 15-9 15-4 笠井
浜谷 高橋
○鈴木 15-11 0-15 山崎 阿部
池田

○田所 17-14 17-7 笠井
河崎ラケット 3-1 電電近畿
○宮川 15-7 3-15 6-15 岩田(勇) 滝野
今井
○堺合 15-10 15-5 竹原 岩田(田)
落平
○宮川 15-15 3-4 9-15 岩田(勇) 滝野
15-7

▽決勝

○梅野尾 15-0 12-15 15-10 関村 牧野
木戸
○小島 15-10 9-15 今泉
○梅野尾 15-7 15-10 牧野
電電東京 3-0 河崎ラケット
○鈴木 15-12 宮川 今井
池田 15-3
○田所 15-4 1-15 堺合
浜谷 15-1
○池田 15-8 15-5 今井
○鈴木 15-0 15-6 木戸
○田所 9-15 10-15 小島○
浜谷 15-3 15-4 梅野尾 木戸
○池田 15-12 15-1 鈴木 米山
木戸
電電東京 3-1 ヨネヤマラケット

女子団体戦は、相沢・竹中を有するヨネヤマラケット（東京）が、安定した力で勝ち進み、準・決勝で琴平電鉄（香川）、決勝で百十四銀行（香川）をそれぞれ破り、初優勝した。

◇……女子団体……◇

▽準々決勝

琴平電鉄 3－1 北辰電機
○蘭浦 15－9 天野
大矢根 17－7 高橋（美）
田所 15－6 高橋（映）○
石原 15－18 15－15 宮本
○蘭浦 11－0 11－5 宮本
○田所 11－5 11－4 高橋（映）

ヨネヤマラケット 3－1 トヨタ自工
我妻 9－15 池田○
佐久間 8－15 宮内
○相沢 15－3 布上
竹中 15－0 松谷
○竹中 11－1 11－5 池田
○佐久間 11－1 11－5 宮内

百十四銀行 3－1 三菱電機長崎
○森川 15－5 斎藤
東関 15－5 斎藤
山口 14－17 小浜○
長尾 15－10 14－17 川本
○森 11－7 11－4 斎藤

○川東 11－6 11－7 小浜
電電東京 3－1 旭光学益子
小笠原 2－15 藤井○
坂口 0－15 沼能
○石崎 15－5 十貫
今田 15－8 竹田
○今田 11－7 11－2 竹田

▽準決勝

ヨネヤマラケット 3－0 琴平電鉄
○相沢 15－10 蘭浦
○竹中 15－7 大矢根
○我妻 10－15 17－15 田所
佐久間 15－8 石原
○相沢 11－4 11－0 蘭浦
百十四銀行 3－2 電電東京
○川東 15－1 15－0 小笠原
山口 16－18 石崎
○長尾 4－15 今田
○川東 11－1 11－0 坂口
○山口 11－7 11－12 11－4 今田
森 5－11 8－11 石崎○

▽決勝

ヨネヤマラケット 3－1 百十四銀行
○相沢 15－2 15－4 森川
我妻 12－15 15－10 石井○
佐久間 13－18 山内
○竹中 11－6 11－2 森川
○相沢 12－9 11－8 川東

本間、小島を押し切る

酷暑の中、熾烈な闘いを展開

◇……一般男子……◇

◇シングルス

▽準々決勝

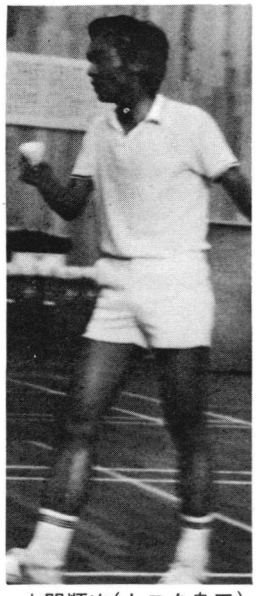
本間 15－6 田所（トヨタ自工） 15－0（電電東京）
池田 11－5 15－5 宮川（電電東京） 15－6（カワサキ）
小島（ヨネヤマ） 15－8 牧野 15－4（高岡市役所）
今泉（高岡市役所） 3－15 15－4 谷口 15－12（トヨタ自工）

▽準決勝

本間 15－4 15－4 池田
小島 15－6 15－9 今泉

▽決勝

本間 15－7 15－12 小島



本間順次（トヨタ自工）

【評】手の内を知り合った宿命の対決も、小島にきわめてラフなミスが多く、15－7とワンサイドで本間が第一ゲームをとる。

第二ゲームは小島1－4とリードされたあたりからようやく、ミス・ショットがなくなり、たちどころに5－5とするも、本間の鋭角的なクロス・スマッシュのリターンが悪く攻撃に転換できず、小島苦戦を続ける。

両選手のラリーは互いに「逆をつき」あるいはその「逆を読む」頭脳的なプレーの連続で12－12、13－13と、まったく予断をゆるさぬ戦況。本間にネット・タッチがあり小島リードもつかの間、セッティングにもつれる。

セッティングにはいるや、小島猛然とラッシュしてこのゲームをものにしてゲーム・オールとする。

一ゲーム・二ゲームともに力は力の激突であったが、三ゲーム目は、がらりと試合の展開が変えられた。ネットへの誘いが小島から出て、終始小島リードのまま進むも、11－7から本間猛然とラッシュして、14－12と逆転、そのまま押し切る。

鈴木健二、牧野光男、栂野尾昌一、今泉勉、今井茂満らの選手がベスト16入りを果すための死闘は熾烈を極めた。ゲームがファイナルにもつれ込んだ選手は結果的には決勝進出を果せなかった。

連日30度を越す猛暑下のトーナメントがいかに技術以前のもの、すなわち不屈の体力を必要とするかを物語るものである。

（内藤安雄）

湯木、竹中の三冠をはばむ

両者、疲労をかくし全力を尽くす

◇……一般女子……◇

◇シングルス

▽準々決勝

湯　木（11―2）尼　崎（カワサキ）
（11―3）（三菱伊丹）
相　沢（11―0）横　尾（ヨネヤマ）
（11―0）（神奈川県庁）
竹　中（11―0）高　橋（ヨネヤマ）
（11―6）（北辰電機）
石　崎（11―2）天　野（電電東京）
（11―0）（北辰電機）

▽準決勝

湯　木（11―4）相　沢
（11―5）
竹　中（12―10）石　崎
（11―2）

▽決　勝

湯　木（10―12）
（11―7）
（11―5）竹　中

〔評〕　竹中が三冠をねらってのぞんだ女子シングルスの決勝は、湯木のサービスから始まった。

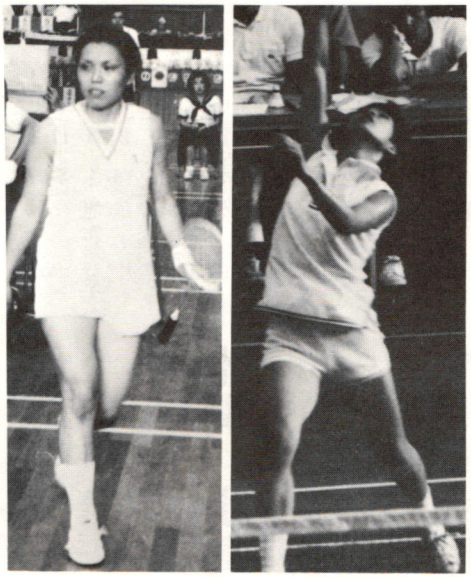
両者ともに動きがにぶく、凡ミスが目立ち、湯木8―4とリードのうち中盤をむかえたところで、竹中の動きがよくなり、除々に優勝戦らしい雰囲気となって来た。8オール竹中インサイドの時、長いラリーに竹中が打ち勝ち、そのままゲーム・ポイントまで進んだが、湯木もよくねばりセッティングとなった。しかし、竹中は積極的にでてこのゲームをものにした。

第二ゲーム湯木すべり出しよく、たちまち5―2とし、後半竹中は追いこんだものの、最初の3点差をはねかえせず、ファイナルゲームとなった。

ファイナルゲームに入り、ともに動きがよくなる。せり合って4―3と湯木がリード。このころから竹中に疲れが目立ち、一時は4―4としたが、湯木が先に6点をとりエンドを変え、10―4、マッチ・ポイントをにぎった。竹中がここで頑張ったが1点返したにとどまり湯木の優勝が決まった。

久しぶりの全英チャンピオン経験者である両選手の対戦に期待をもって観戦したが、団体戦・個人単・複と6日間連日30度を越す室温の中で、20試合以上の試合を消化した両選手、疲労の度は、かなりはげしいはずであるのに表情に出さず、淡々とゲームを進めたのは立派であるが、内容的には凡戦であった。しかし、石岡市民五百人の観戦者はお目当の両者の対戦を充分堪能できたであろう。観客マナーも大変よく、今回大会に花をそえた。

（小飼栄一）



湯木博江（カワサキ）と竹中悦子（ヨネヤマ）

栂野尾・木戸組、団体戦の雪辱をはたし、二連勝

相沢・竹中組、圧倒的な強さをみせる

◇男子ダブルス

▽準々決勝

栂野尾・木戸（ヨネヤマ）（15―2）（15―9）児島・草島（三景）
鈴木・池田（電電東京）（15―12）（15―10）関村・牧野（高岡市役所）
本間・谷口（トヨタ自工）（15―7）（15―11）山本・佐藤（北辰電機）
河村・今泉（高岡市役所）（15―9）（15―4）宮川・今井（カワサキ）

▽準決勝

栂野尾（15―9）（15―6）鈴木
木戸（15―6）池田
河村（　）本間
今泉（　）谷口

▽決　勝

栂野尾（15―10）河村
木戸（15―8）今泉

〔評〕　男子ダブルスはシード選手が順当に勝ち進み、準決勝では栂野尾・木戸組が鈴木・池田組をやぶり、団体戦の雪辱をはたした。決勝戦は昨年に続き栂野尾組と河村組によって争われたが、栂野尾組が打ち勝ち、2年連続の優勝をとげた。

◇女子ダブルス

▽準々決勝

田所・石原（琴平電鉄）（15―5）（15―6）（15―8）横田・高井（北辰電機）
石崎・今田（電電東京）（15―2）（15―2）池田・宮内（トヨタ自工）
相沢・竹中（ヨネヤマ）（15―10）（15―5）田村・高野（地崎工業）
高橋・宮本（北辰電機）（15―5）（18―15）（15―5）川東・森（百十四銀行）

▽準決勝

石　崎（15―9）（15―5）田　所
今　田（15―5）石　原
相　沢（15―4）高　橋
竹　中（15―4）宮　本

▽決　勝

相　沢（15―10）石　崎
竹　中（15―10）今　田

堺・湯木組、ミックスの真髄をみせる

◇混合ダブルス

▽準決勝

堺・湯木（カワサキ）15－10／15－1 山本・高橋（北辰電機）

栂野尾・竹中（ヨネヤマ）15－10／15－7 田所・今田（電電東京）

▽決勝

堺・湯木 17－16／15－12 栂野尾・竹中

【評】湯木、竹中のトッププレーヤーが前衛にたちはだかり、後衛では、かってペアを組んで全日本のタイトルをとった堺、栂野尾の名ダブルスプレーヤーが走りまくる決勝は、見ごたえのある好試合だった。

時折り、ローテーションをつかって、女子がスマッシュを打ち込むなど迫力のある闘いとなったが、ミックスにおいては一日の長のある堺・湯木組が接戦の末、優勝した。



堺・湯木組（カワサキ）と栂野尾・木戸組（ヨネヤマ）

吉田（日立戸塚）、元全日本チャンピオンに圧勝

◇……30才以上……◇

◇シングルス

▽準々決勝

吉田（日立戸塚）15－11／15－12 川上（不二越）

黒崎（北辰電機）15－7／15－4 堺（十条伏木）

宮永（明治生命）15－2／18－15 堀越（北辰電機）

早川（日立水戸）18－14／15－7 小山（神奈川県庁）

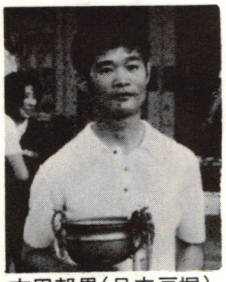
▽準決勝

吉田 15－3／15－6 黒崎

宮永 14－4／15－3 早川

▽決勝

吉田 15－5／15－13 宮永（初優勝）



吉田邦男（日立戸塚）

◇ダブルス

▽準々決勝

堺・大野（十条伏木）15－1／15－2 本摩・北川（シオノギ）

黒崎・堀越（北辰電機）15－4／15－3 藤井・今東（岡山市役所）

小山・中丸（神奈川県庁）9－15／15－1／15－2 五本木・川田（安立電気）

藤原・田丸（三井造船玉野）15－11／10－15／15－12 鈴木・島田（東京都庁）

▽準決勝

堺 15－4／15－4 黒崎

大野 堀越

藤原 17－10／15－10 小山

田丸 中丸

▽決勝

堺 15－9／15－7 藤原

大野 田丸（四年連続優勝）

◇……40才以上……◇

◇シングルス

▽準決勝

浜中（丸善石油）15－5／15－8 鈴木（国際電気）

山崎（国崎東京）7－15／15－11／15－9 吉田（大日本電鉄）

浅井（国鉄後藤）15－2／16－17／15－13 尾崎（三菱電機神戸）

準々決勝

中島（大村市役所）15－5／15－9 林（スワロー化研）

▽準決勝

浜中 15－5／15－5 山崎

中島 15－4／15－6 浅井

▽決勝

浜中 15－6／15－1 中島（二年ぶり四回目の優勝）

◇ダブルス

▽準々決勝

横井・谷口（クラレ西条）15－7／15－9 森脇・鈴木（国際電気）

井原・松永（国鉄後藤）不戦勝 井沢・後藤（名鉄）

尾崎・大平（三菱電機神戸）15－4／15－3 岡本・水川（岡山市役所）

佐々木・浅井（国鉄後藤）15－7／15－10 明珍・西村（三井造船玉野）

▽準決勝

横井 15－0／15－7 井原

谷口 松永

尾崎 4－15／15－10／17－14 佐々木

大平 浅井

▽決勝

横井 15－4／15－9 尾崎

谷口 大平（二年連続優勝）

カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

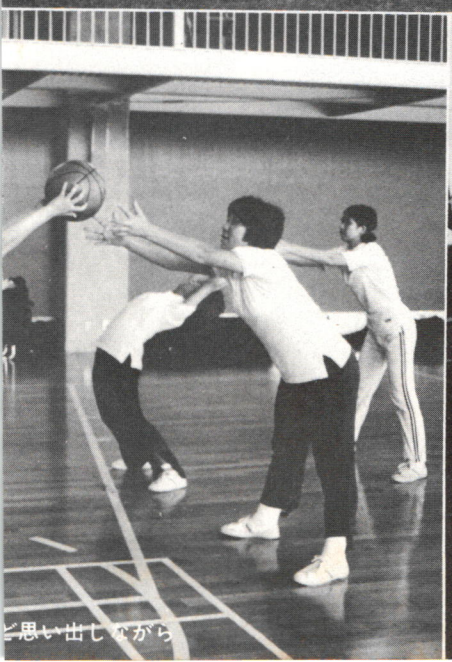
●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）


日本的羽毛球美娘軍合宿記
YONEYAMA

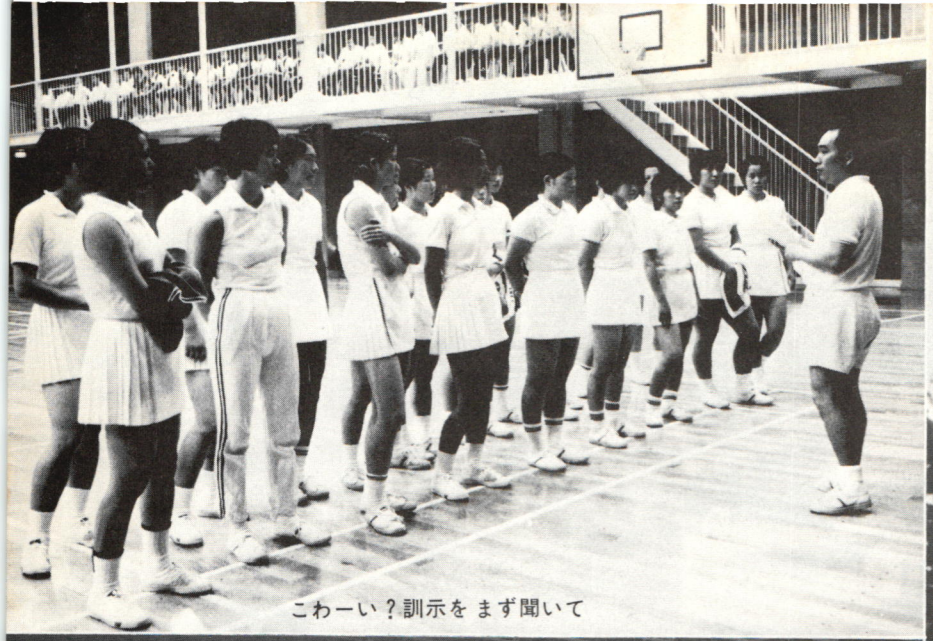
新鮮な空気を胸いっぱい吸って練習開始



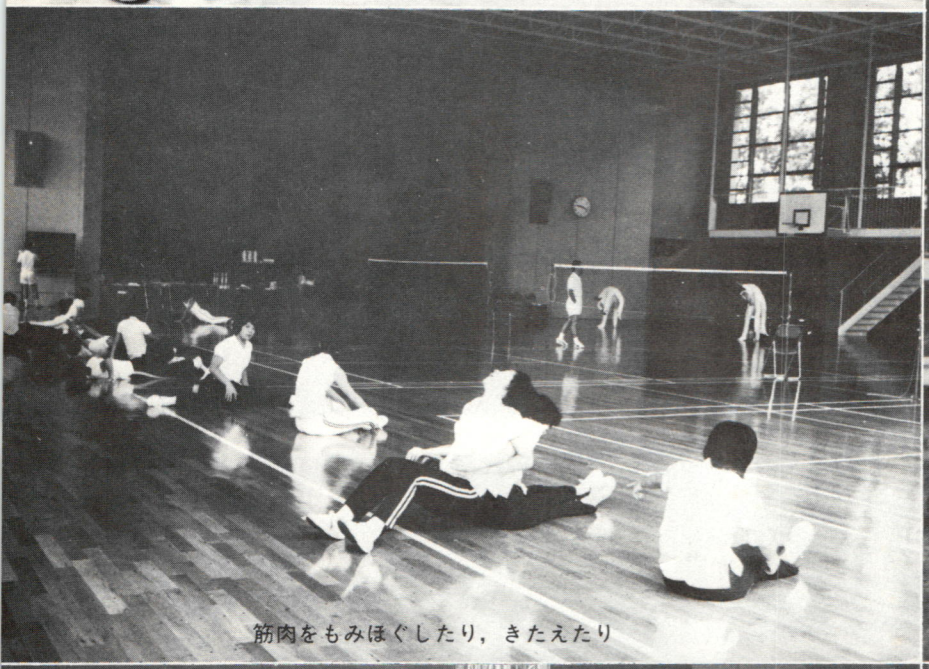
ど思い出しながら



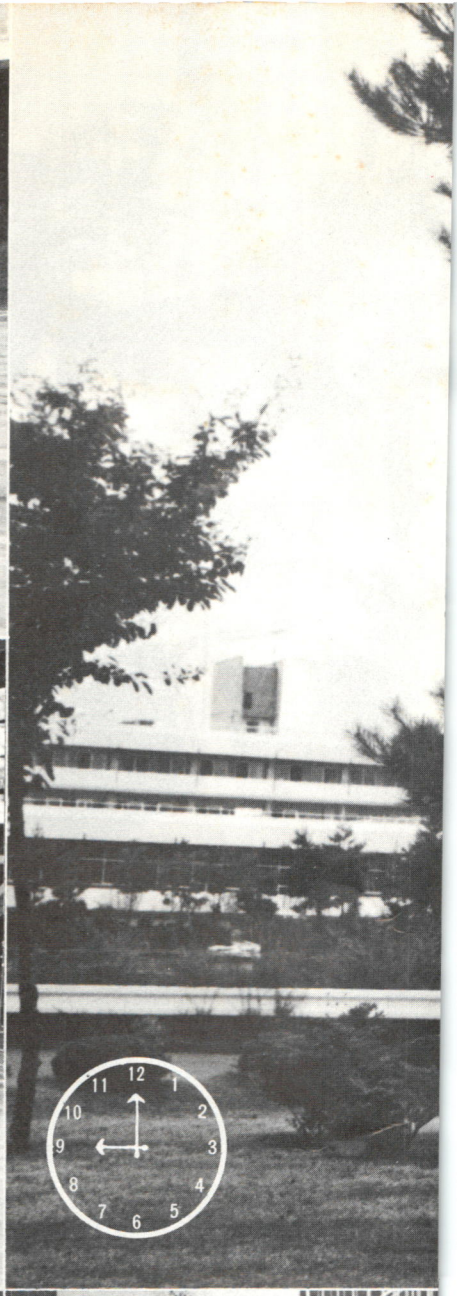
点取り虫のマネもしてみる



こわーい？訓示をまず聞いて



筋肉をもみほぐしたり，きたえたり

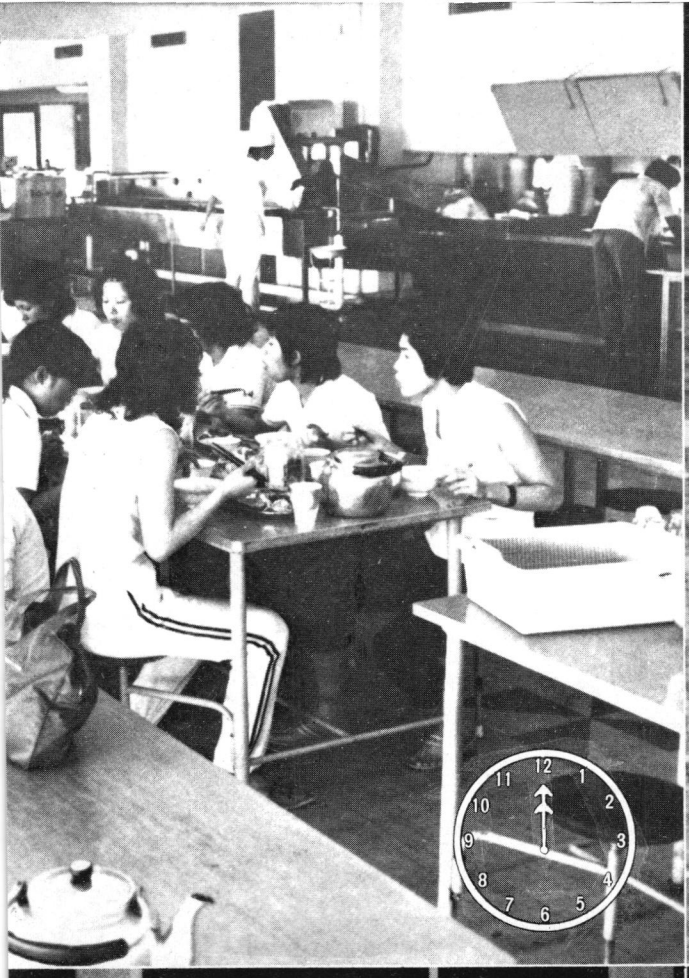


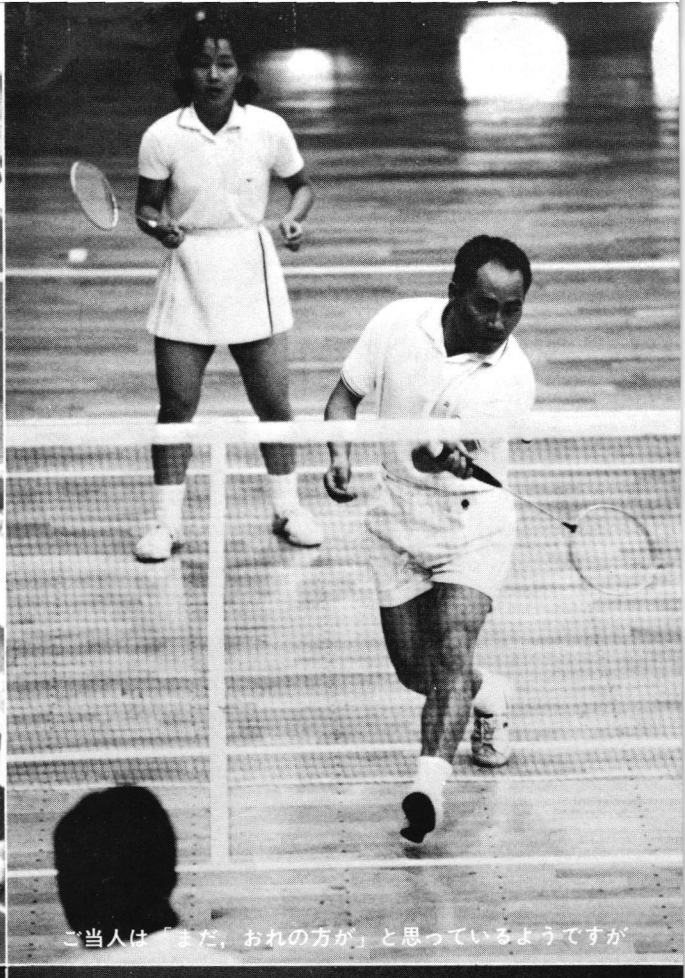


女だてらに馬にも乗って

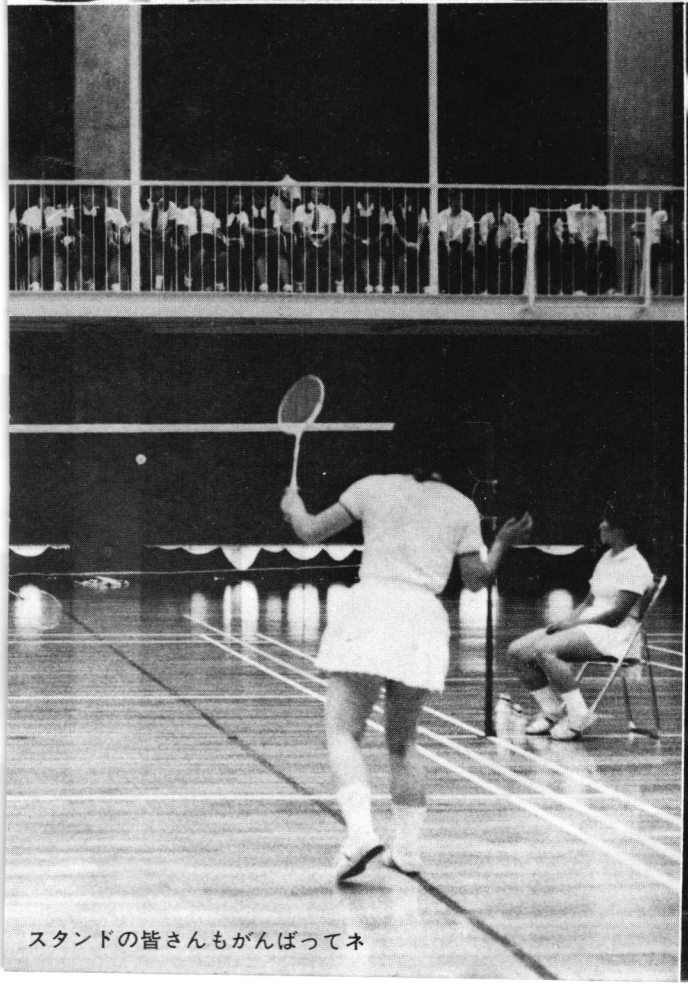


小学校の運動会か

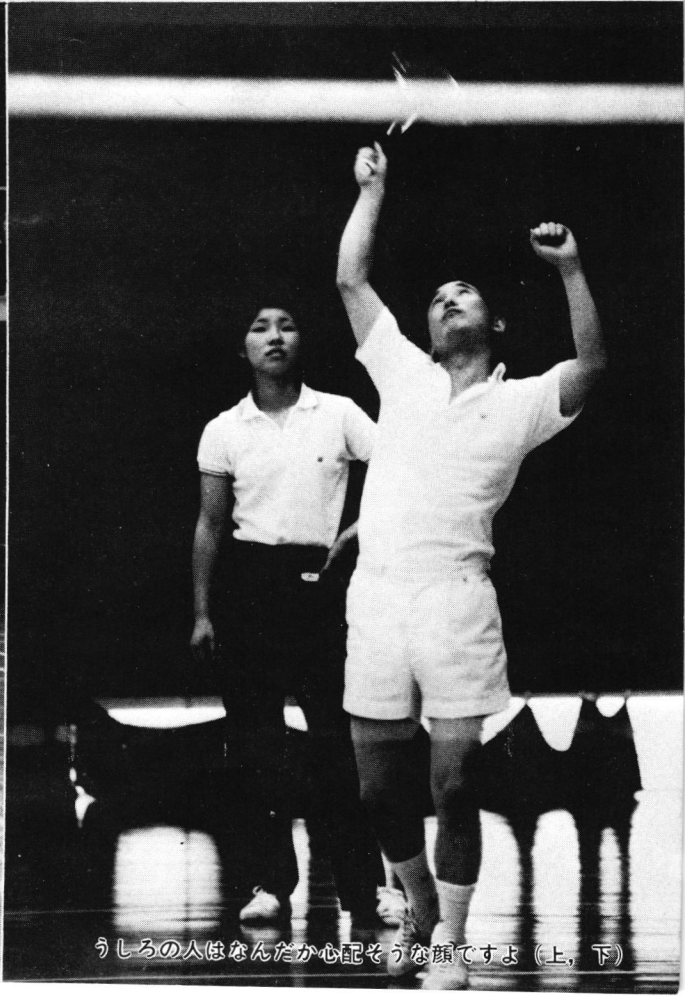




ご当人は「まだ，おれの方が」と思っているようですが



スタンドの皆さんもがんばってネ



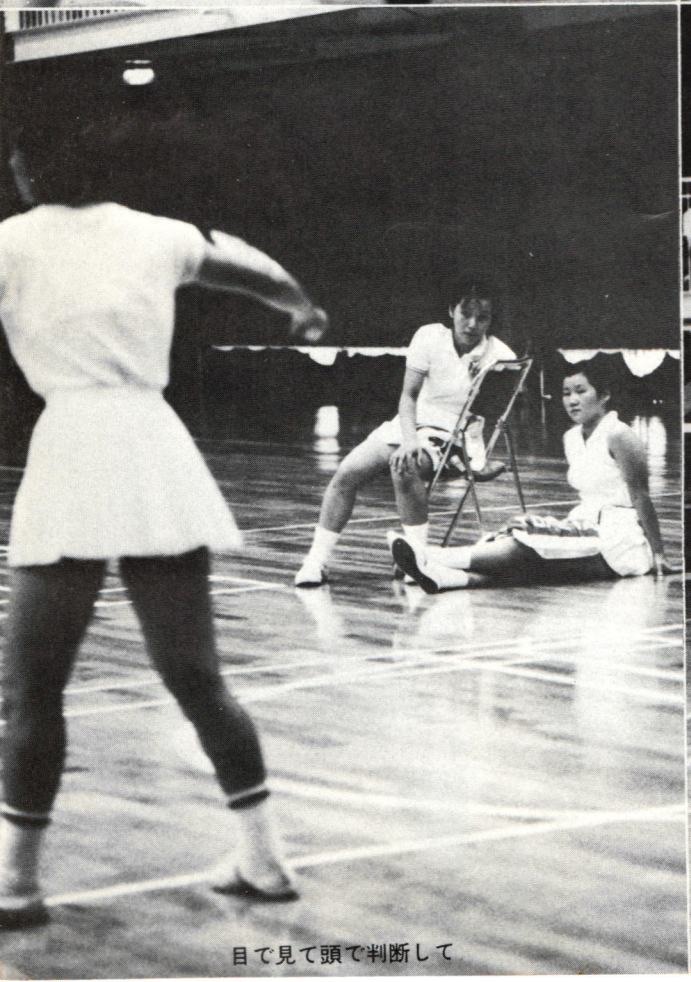
うしろの人はなんだか心配そうな顔ですよ（上，下）



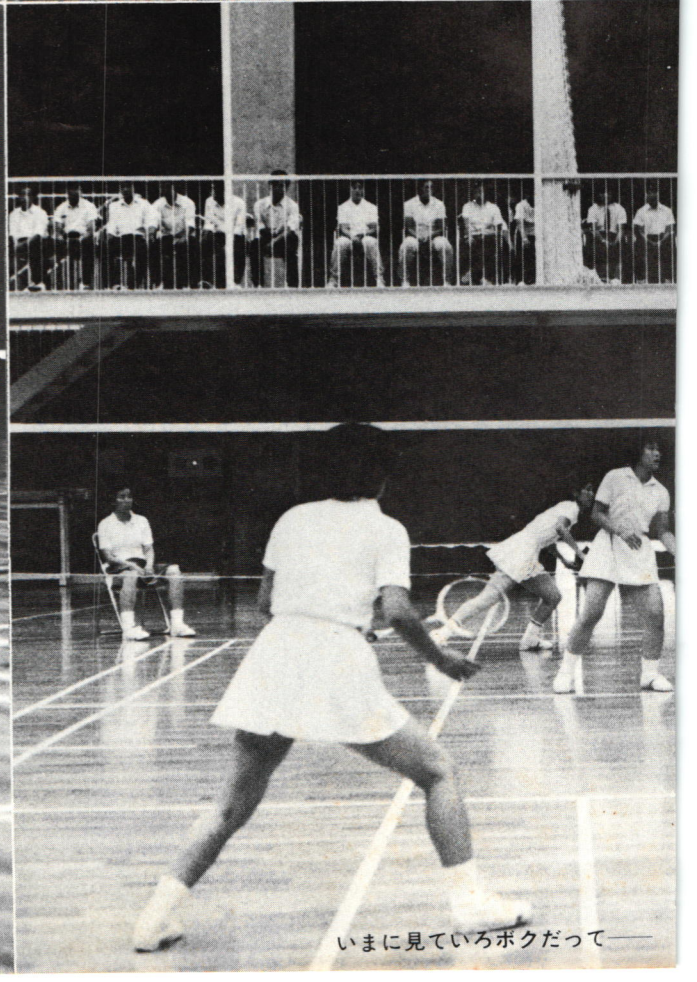
乞御期待新大型女複組近日完成



最近は夏でも“馬肥える”んだそうてす

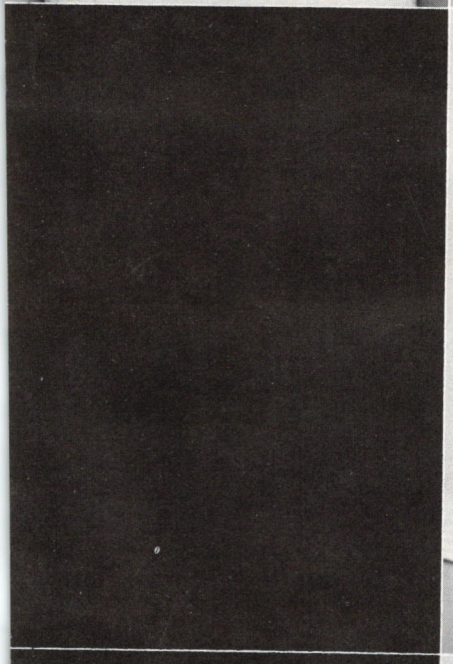
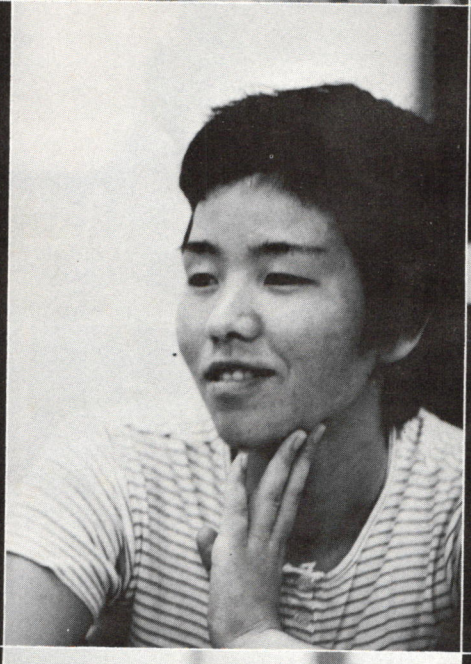


目で見て頭で判断して



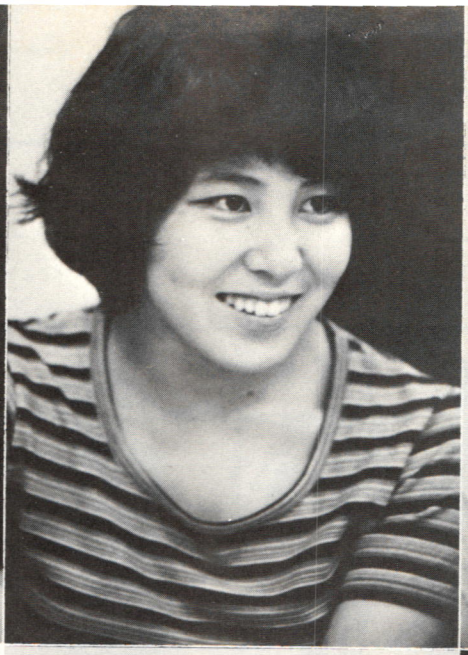
いまに見ていろボクだって——



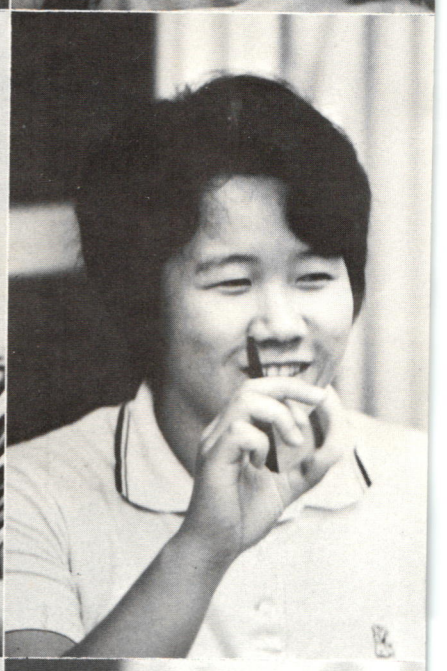












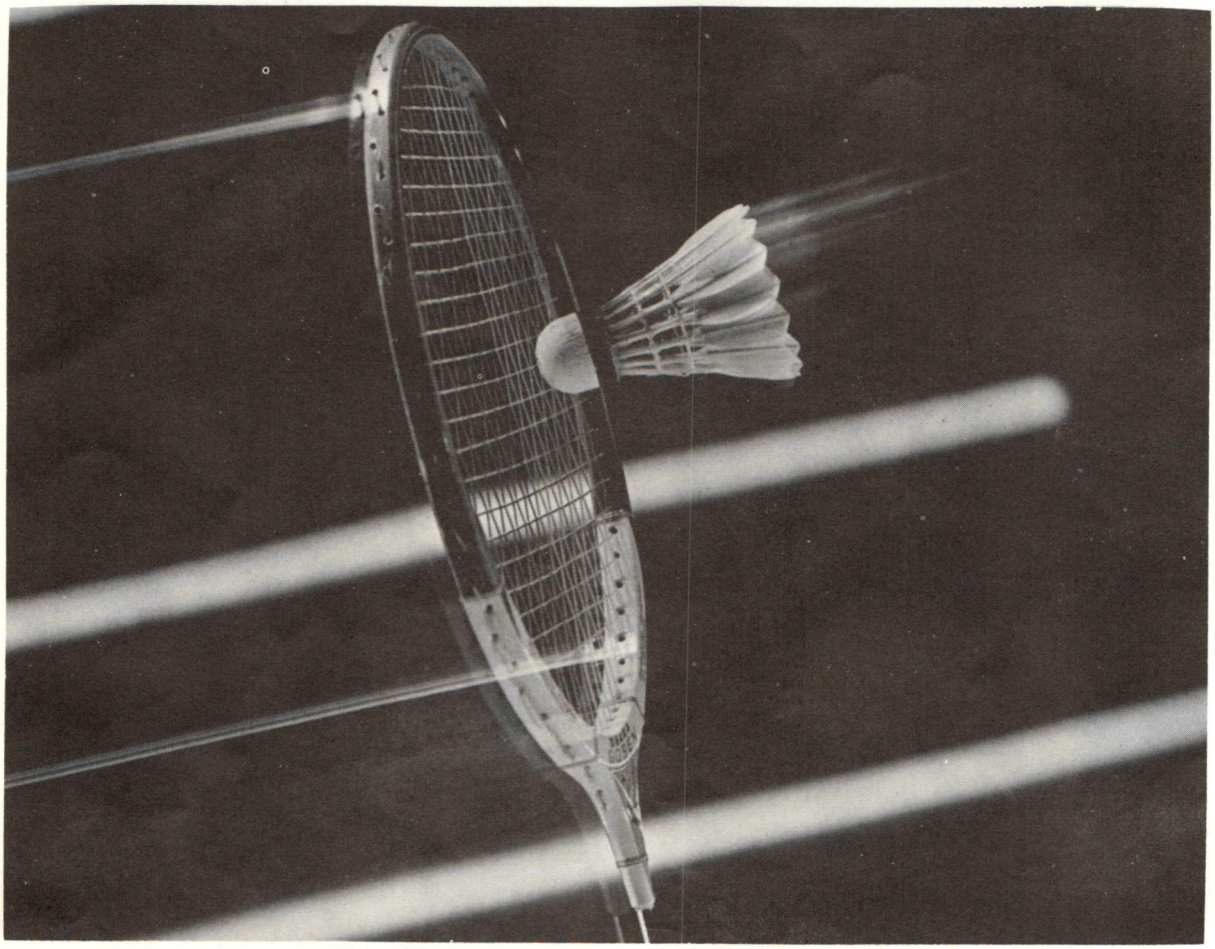




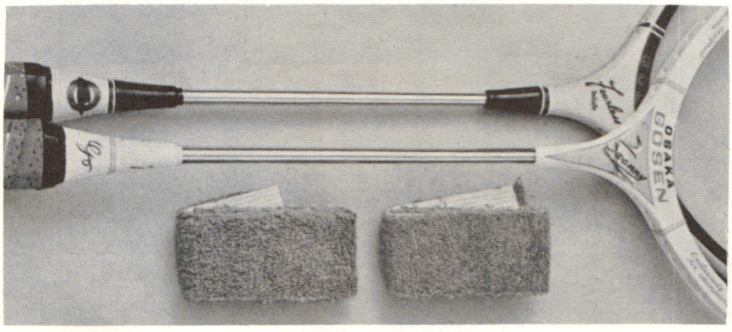

コートさん　きょうも一日ありがとう

《新発売》

Swannv



この確かなバイブレーション。
それはスワニー。



特殊合板の力強いフレームに、従来のものより長いステンレス・シャフトの強靭性が強力なバイブレーションを生み、重さも122g以下と今までより軽くなり、それがスピードとパワーの素晴しいバランスを構成し、ふりもシャープな一級品ラケットをつくりました。

No.β スワニー〈フレーム・カバー付〉 ¥3,800

☆お買い上げになりますとタオルグリップがついています。

大阪合繊株式会社
本　社・大阪市東区豊後町4 ☎(06)942-5816 代
東京営業所・東京都台東区鳥越1-26-1 ☎(03)862-6576 代



シリーズ人間

秋本繁美

シャトルを追って何百里

応援第一――商売第二

三姉妹の父はきょうも心に叫ぶ『青年らしい青年よ育て』

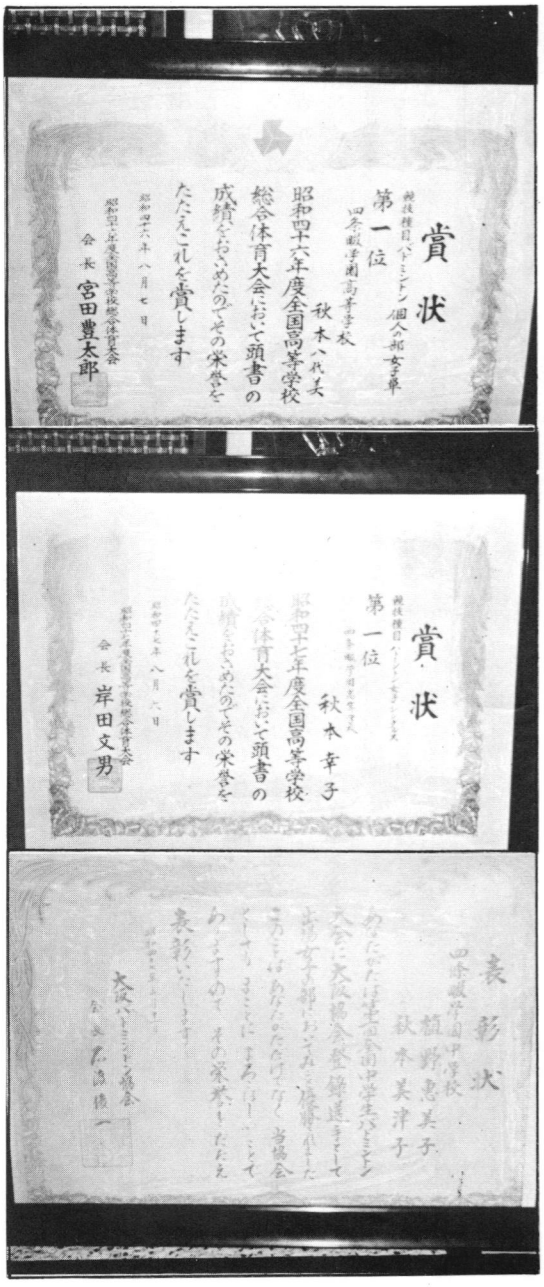
本日、臨時休業仕候――店の前に、こんな貼り紙が出るのだそうだ。しかし、近所の人々はそれだけで、ははあ、とわかるそしていう「また、行っちゃったんだね」――もちろん、直接、見たわけではなく、また聞きだから、真偽のほどはわからないが、こんな伝説めいたエピソードが伝わるくらいだから、おして知るべし、なのだ。

話題の主、秋本繁美さんは秋本商事（貸店舗、飲食業）の経営者。現在は、大阪・近鉄布施駅前で、お好み焼「万両」をやっている。というより、かの秋本三姉妹の父、と紹介した方が早いだろう。

この人、根っからのバドキチだ。といって、当節流行の教育なんとかよろしく、三人娘に無理やり西洋羽根つきを仕込んだわけではない。娘たちが勝手にやり始め、あとからそのすばらしさに気づいて、追っかけたのだという。

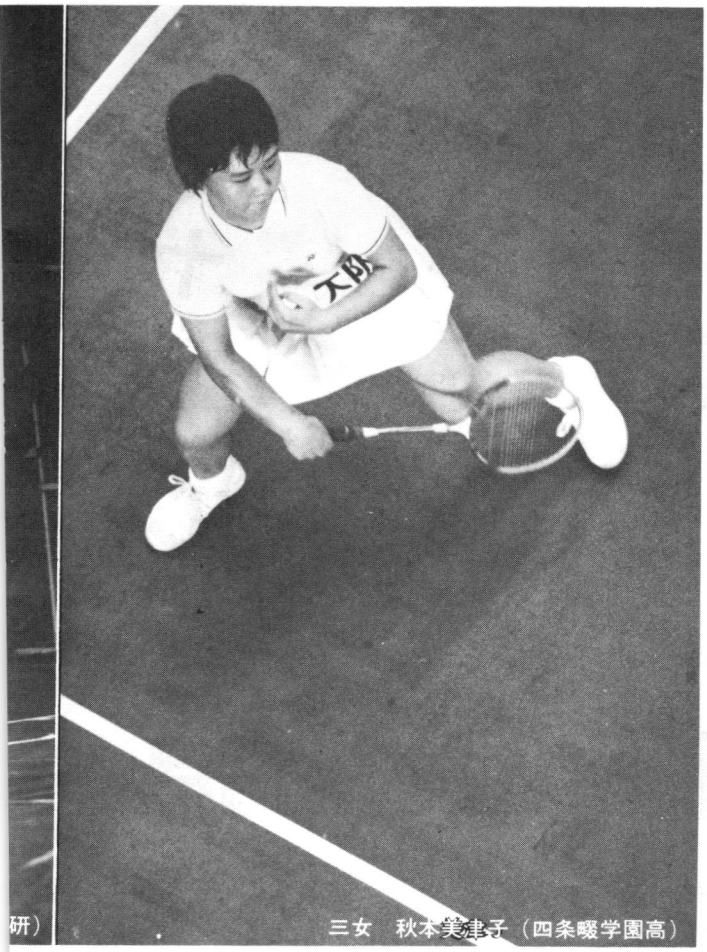
動機はともかく、一旦、その魅力にとりつかれてからというもの、娘の試合があったり、いい試合だと聞けば、遠慮なく商売を休んで、どこへでも出掛けていく。そしてバドのPRをする。それを許す奥さんも大したものだが、おかげで、この一家に〝断絶〟などカゲもない。

こんな話を聞いたので、さっそく三姉妹の育ての親・片岡輝明氏（四条畷学園高監督の手をわずらわした。「人間は魂で動くものだと信じている」――このおやっさん、なかなかええこといわはりまんねん。では。


賞状
第一位
秋本八枝美
昭和四十六年度全国高等学校総合体育大会において頭書の成績をおさめたのでその栄誉をたたえこれを賞します
会長 宮田豊太郎

賞状
第一位
秋本幸子
昭和四十七年度全国高等学校総合体育大会において頭書の成績をおさめたのでその栄誉をたたえこれを賞します
会長 岸田文男

手記　秋本繁美



三女　秋本美津子（四条畷学園高）

私が初めてバドミントンの試合を見たのは、第21回全国高校大会の時でした。昭和45年の夏名古屋で行なわれたインターハイです。

四条畷学園の主力選手は、西尾、秋本(八)、佐古、秋本(幸)でした。八代美は二年生、幸子は一年生の暑い日のことでした。

その頃の私のバドミントンへの認識は〝手羽根つき〟という程度のものでした。しかし、初めて試合を目のあたりに見て、考えは一変しました。いつの間にか子供達が、これほどまで成長していたのに、また毎日、夜遅く帰ってくるのに、親は何の関心も示さず、傍観していたのかと、反省し、かつ後悔でいっぱいでした。

第一、片岡先生、杉田先生に今まで何とすまないことをしてしまった、ということです。

でも、あの時以来、私は完全な〝バドキチ〟になってしまいました。もちろん、いまでも熱烈なファンであります。またバドミントン三姉妹を持つ親として、それを「心の宝」としています。

その後、インターハイは普通寺、新庄。国体は岩手、和歌山鹿児島。そしてユーバー杯、中学校全国大会、欧州対抗戦、全日本総合などのバドの試合は仕事を休んで見に行きました。

完全なバドキチに成長!!。それは自分の子供が選手であるから、ということもあると思う。でも私が友人を試合にさそい、実際にゲームを見てもらうと彼等も「あんなに激しいスポーツとは知らなかった。今度近くで試合のある時は、必ず見に行きたい大変面白かった」といってくれます。

よい試合を見た時の、あの激しさとあの感動は、初めて見る人の心をとりこにしてしまう。バドミントンは見せるスポーツであると思う。

今の世の中で、若人が純粋で何の打算もなく、人間の力の限界を試すすばらしい世界。それがスポーツのよさであり、見るたび、私は本当に心を打たれます。そして、世の中が、こんな世界ばかりだったら、何とすばらしいだろうと思うのです。

クラブを通じて得たものが、社会へ出た時のプラス面は、数多くあると思います。先輩後輩の礼儀、忍耐力、たゆまぬ努力負けじ魂、体力の限界を超えた精神力、敗者への思いやり、無欲の勝利……。

私は20数年商業ひとすじの人間です。クラブの精神を商道に取り入れたとしたら、成功間違いなしであろうと思います。人は魂で動くものと信じています。

バドミントンの今後に期待すること、それはもっと多くの人に、このスポーツを知っていただきたいことである。ファンになってもらいたいことである。スポーツの良さを知ってもらいたい。

そして、人間性回復の叫ばれる今日、心身ともに青年らしい青年が、ひとりでも多くスポーツを通じて、世の中に巣立って行っていただきたい、と願うものです。小生の娘たちが、バド界発展の為に、少々でも役立つことは、親として最高の幸せと思います。

バドキチ秋本さんのこと

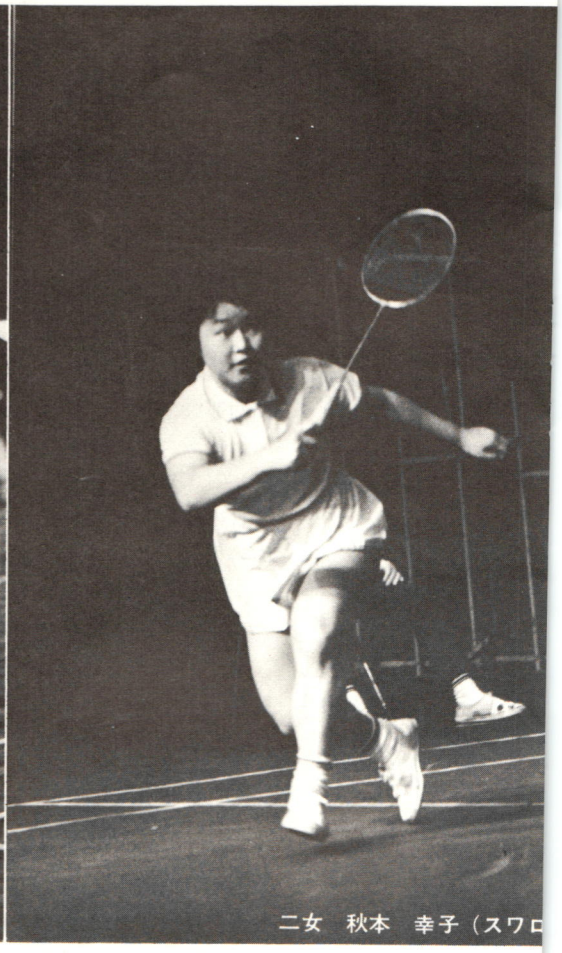
四条畷学園高
監督　片岡輝明

秋本三姉妹、バドミントン界では、よく知られている名前である。

上の二人は連続してインターハイ三冠王という、珍らしい記録を持ち、末の妹は現在、高校一年生として頑張っているという、子宝に恵まれたこの親父さ



長女　秋本八代美（日女体大）



二女　秋本　幸子（スワロ

私と父とバドミントンと

長女　秋本八代美

私は現在、日体大二年生。そのキャリアは八年目を迎えようとしている。自分がバドミントンを通して生活していく内に、環境が目ざましく変化していった。

まだ私が小学校を卒業して間もない時に、なにげなく、ひょいっと、高校のバドミントン部が練習している体育館の片隅でラケットを持ち、私の友達と〝はねつき〟を始めたのがきっかけであった。

それからが、私の人生「バドミントン」が始まったのだ。片岡先生、杉田先生のご指導のもとで、バドミントンに打ち込んだ。

それは肉体と精神との、苦しい戦いであった。それにもまして、指導して下さった先生方の厳しさ、苦しさが、現在、自分が日体大に入学し初めて、わかったような気がします。

その先生方の熱意が通じたのか、私が高校二年生（愛知県体育館、昭和45年度）インターハイの時、両親が初めて応援に来てくれました。

この後、どのような大会にも応援に駆けつけてくれました。子供として、これほどまでに両親が気をくばり、協力してくれたことは、何ものにもかえがたい力となったような気がします。

バドミントンを通し、私の学んだこと、それは「汗の味」そして「心」これが私の最大の収穫だと思います。

んは、とにかく、本人もいわれるように、バドキチで、また子ぼんのうな人である。

試合はもちろん、練習や合宿にもよく顔を出し、他の選手の保護者とも、ずいぶん、よく交流のお世話をして頂くなど、我が校のクラブにとっては、かけがえのない人である。

女の子ばかり生んで、男の子が欲しい、とつねづねボヤいておられるが、内心はどうかわからぬほど、今は子宝に恵まれた親父さん。店の方はお母さんにまかせっきりで、もうしばらくバドミントンに時間を下さい。

技術以前にまず体力つくり

毎日の生活にも張り，明るさもぐんと増す

①埼玉・上尾運動公園クラブ

第22回埼玉国体の主会場となった上尾市の上尾運動公園は、その後、一般県民に解放されて立派な活動を続けている。まず各種スポーツ教室が発足し、それが参加者の自主的運営によるクラブにまで発展した。目下、あるクラブはバレー、美容体操卓球、フォークダンス、軟庭、スケート、そしてバドミントンの七つ。これらクラブが五年目に入ったのを記念して、運動公園事務所では、このほど活動状況をまとめたパンフレット「スポーツクラブの歩み」を刊行した。この中から、バドミントンの活動を紹介してみよう。

×　×　×

おそらく、この種の形のクラブは全国どこでも同じだと思うが、いわゆる教室から発展した（教室は現在もある）。上尾では、三カ月を一期とする年四回の各種教室を開設したが①しだいに希望者がふくれ上がってきたこと②せっかく経験したものを〝生涯スポーツ〟に結びつけメンバーの定着をはかろう——という考えから、まず経験者コースを増設した。しかし、これもたちまち満員、ここで教室メンバーの間からもクラブ結成の気運が盛り上がり、まず44年7月、バレーボールと美容体操のクラブが発足した。

バドミントンのクラブ誕生は46年4月。一期（三カ月）の会員は、たえず二十人台だが、こととし三月までに八十一回もの練習が行なわれ、各期ごとの延べ会員数百五十一人、八十一回の延べ参加人数は千九十八人にも達した。

○組織と運営　以下はすべてのクラブに共通することだが、目的は「生活の中にスポーツを採り入れることによって、より健康で明るい人間をつくり、さらには地域社会のリーダーとなれるような人を育てること」であり「いたずらに高いレベルの技術のみを追い求めることなく

1月18日の練習内容

AM		
9：55～	全員集合	点　呼
10：00	準備運動	ランニング
		柔軟体操
		体づくり
10：15	本日の練習内容の話し合	主題
		サーブ
		サーブ・レシーブ
		ゲーム
10：20～	ウォームアップの各種乱打（きまったペアで）	ハイクリア
		ストレート
		スマッシュ
		ドロップ
		ネットプレイ
10：45～	本日の主題	
	○ショートサーブ	・コース研究
	○ロングサーブ	・高さ・コース研究
	○レシーブ	・リターンの研究
11：20	ゲーム	主題
		・サーブレシーブを生かす。
		・各自きまったペアでゲーム
		・1セット11点，2セットマッチ，1対1の時は引き分け
11：50～	クーリングダウン整理運動	
11：55～	反省	・本日の練習した主題がゲームで生かせたか。
12：00	終了　清掃解散	

機関誌に見る各地の活動

上尾運動公園 バドミントンクラブのママさんたち





スポーツを通じて仲間づくりをする」（パンフレットから）である。

会員は、いずれかのスポーツ教室の経験者であることが条件で、役員として部長、副部長、会計（2名）委員若干名を置き一期（三カ月）ごとに互選している。

会費は一期分六百円（前納、払戻しなし）。会場借用料（一時間につき百五十円）電灯料（同二百五十円）は、この中から支払われる。ほかに、会費の中には保険料がふくまれている。某保険会社と特約して、スポーツ傷害保険に加入しているからで、三カ月一期で保険料五十円負傷の場合は百八十日を限度として一日五百円、廃疾、死亡などの最悪事態には、程度に応じて一万五千円から五十万円までが支払われる。

練習は週一回二時間（バドミントンは木曜日）午前中。一期十回が原則で、スポーツ教室の指導員が、そのままクラブも指導してくれている。

バドミントン・クラブの構成年齢は44歳から26歳、平均37歳である。クラブの第二期（教室スタートから通算十三期）には早くも与野市なでしこクラブと対外交流試合をスタート、以後定期戦を行なっているほか、第五期には東京・三鷹ママさんクラブ、第七期には東京・新橋クラブとの県外親善試合も行なうまでに成長した。

負けても、汗流した満足感

――やっぱり白髪になるまで止められない

練習後はミーティング、試合後は懇親会を開いており、ボウリング大会や夏季の臨時水泳教室等も行なった。

○会員の手記から　次に紹介するのは「スポーツクラブの歩み」に掲載された針谷和子さん（44歳）の「バドミントン・クラブと私」という感想文の一部である。

46年4月にクラブ誕生、当時は小人数で赤字運営、役員を引き受けたものの、次期クラブの存続は悲観的で〝つぶすまい〟と願い、責任を負っての練習は楽しむ余裕のない重苦しい日の連続でした。

しかし、なんとかその灯が燃え続けられたのは、指導課の先生方の暖い励しがあったことによりますが、同時に、貧弱なクラブを見捨てることなく団結し現在を築き上げたクラブ員同士の信頼、仲間意識、スポーツへの愛情があったればこそだと思います。

バドミントンの未経験者がほとんどでありましたが、純白の超ミニのユニホームに、上尾のマークも鮮やかに初めて対与野戦にのぞんだ時の緊張と感激は昨日のことのように思い浮かべることができます。

スナップがきいて、相手コー

トの隅に鋭くシャトルがささったとき、パートナーとの息がよく合い、全身が快く動き、コート狭しと走り回れたとき、たとえ試合に敗れても、汗を流したときの満足感は、スポーツを愛するもののみが知る最大のよろこびです。

最近やっと国際試合も日本で開催され、バドミントンの関心も上向き傾向かとも思われますが、私たちママさんクラブのような、ささやかな活動が底辺となって、もっと多くの人達がスポーツとしてのバドミントンに接し、愛好者がふえることを願ってやみません。

○アンケートから　運動公園事務所では、本年三月、当日出席者を対象としてアンケート調査を行なった。従って、多くは七つのクラブ統計であるが、バドミントン・クラブ員の答えもこれと基本的に大差ないと思われるので、その要旨を、ここに掲載して参考にしよう。いわゆるママさんクラブの実現像がつかめると思う。

×クラブのママさんの家庭は64%までが二人の子供がおり、96・2%までは家族が五人以内である。

×子供のうち、末っ子は大半が小学校低学年までの年少者（51・8%）である。従って午前中にクラブ練習があるのは便利である。子供が少くとも幼稚園に上がり、自分は三十歳ぐらいになってからクラブに、というのが一般的。また答えた人のうち三人に一人は職業またはパートを持っており（37%）生活時間を整頓して、スポーツ時間を生み出している姿がうかがえる。

予想外の副産物――〝友人ができて楽しくなった〟

×動機と結果との違い。クラブ（教室にも入っている人もいる）に入会した動機の最大のものは「若さと健康を保ちたい」という、きわめて女性らしいことが最高（約半数）で、ついで「スポーツが好きだから」（約四人に一人）が多い。

ところが、やってみた結果、得た予想外の副産物がある。それは「友人ができて楽しくなった」（68%）で、ほかに「他人と積極的に協力するようになった」（7・8%）がある。

もちろん、身体の動きが楽になり、丈夫になり、体力がついてきた（身体的効果のベスト3）とか、精神的にも若返り、生活が楽しく、運動の楽しさも味わえるようになった（精神的効果のベスト3）――は予想されるところだ。〝友だちづくりと協力〟という〝社会的効果〟を生むことができる点、これこそがクラブの美点だろう。

なお、61%もの人が自分の家の近くやPTA等でも、クラブ経験を生かして、リーダーとなっている。

シャトルは軽いが友情は重い

純白の花の環で世界をつなごう

一、わたしたちは、世界の友と力をあわせ、りっぱな世界をつくります。

スポーツ少年団は、この綱領によって組織される少年の団体です。県下には、現在各地に150団近くがあって、活動しています。今度このスポーツ少年団巡りを行ない、その活動状況を紹介していくことになりました。今回は、その第一回として、志賀町バドミントン・スポーツ少年団を取り上げました。

×　×　×

志賀町バドミントン・スポーツ少年団は、昭和46年9月6日に登録承認された少年団で「バドミントン競技を通じ、友情とトレーニングのなかで、限りなく伸びる元気なからだとこころを育てる」ことを目的としていますが、団員募集のキャッチ・フレーズには「白い小鳥が飛びかう体育館。力とスピードとスリル満点のゲーム。現代感覚に富んだ花形スポーツ・バドミントン。コートの中から人生を拾っていこう」とあります。この言葉は、このスポーツ少年団の心構えをよく表わしています。

団員は53名で、ほとんどが志賀中学校の生徒ですが、小学生8名、高校生3名が含まれています。高校生3名は少年団のOBで、よきリーダーとなって活躍しています。

団活動はバドミントンの練習が中心ですが、年2回のスポー

②滋賀・滋賀町スポーツ少年団

一、わたしたちは、健康なからだと心を養い、次代をになうりっぱな人間になります。

一、わたしたちは、ルールを守り、他人に迷惑をかけず、進んで奉仕し、りっぱな社会人になります。

一、わたしたちは、スポーツによって限りなく伸びる自分の力を作り出すために努力します。

一、わたしたちは、スポーツの中で、友情と協力と歓びを学び、わたしたちの国と国民を愛します。

ツテストの実施によって、体力増強のデータをとっています。また春秋2回の団内選手権大会を行なって、バドミントンの技能向上の評価を行なっています。

これらの活動は志賀中学校小松分校の体育館を中心に行なわれますが、琵琶湖哀歌で名高い北湖の名勝地、雄松崎湖畔の砂浜を使った絶好の天然マットの上での、準備運動や補強運動から始まります。

これが終われば、息つく間もなく、ダッシュ、ターンの繰り返し、ラケットの素振りと続きます。砂浜での練習ですから、体育館での練習より数段多い練習量となります。

しかし、だれひとり弱音を吐く者がいないところをみると、本当にスポーツを愛し、バドミントンにあこがれている少年たちの集りだということがよくわかります。そして、この姿こそ昭和39年に発足したスポーツ少年団の願いを、そのまま表わしている姿であると思います。

（滋賀のスポーツ第29号所載）



荒海や佐渡に飛びかう白い羽根

③新潟・佐渡協会

新しい年のスタートを祝い、ことしもバドミントンを通してより健康であるようにと、正月行事として「新年初打ちの会」から毎年の活動が始まっている。

抽選で二人一組をつくり、2シングルス、1ダブルスで行ない、同様に再抽選で第二回、三回と試合を進め、個人ごとに勝数で賞品を授与するもので、正月レクリエーションとして、とても楽しい。

選手権大会は一般の部が高校生を含めて約百名、中学生の部は二百名近く参加し、近年2会場にしたり、または二日がかりで開催してなかなか盛会である。高校を卒業した女子の参加が最近しだいに多くなってたのもしく、やがてミックスも考えたい。

社会人大会は、高校生を除く職場のファンが、年齢・巧拙を問わず参加し、年々その会場を変え、新しい会場地の普及や新人の発掘につとめ、終わって総会、反省会を盛大に開催するが試合に負けても盃・コップで勝とうというものもいて、宴会の優勝盃獲得戦もなかなか悪戦苦闘…。

中学・高校のバドミントン部が最も困るのは、その指導者がいないことで、土曜の午後と日曜は極力サービスのため、島内どこでも無料奉仕している。

全島ほとんどの中学校にバドミントン部のあることを新潟県随一と誇りにし、またその育成を楽しみにしている。高校六カ校のうち、部の設置されないものが二カ校あるが、中学校から優れた選手が続出するので、やがて設置の気運に傾いている。

みちのく秋田に繰り広げられた第十一回全日本教職員大会において「あなたは永劫に輝くタイトルを得た」という賞を受け入賞の喜びより今後にファイトを燃やし、佐渡をバドミントン島にしたいと念じている。（新潟県協会機関誌より抜すい）

私うまいのよ

中一からやってるもん

Tシャツにジーンズ姿で、公園バドミントンに打ち興じているのは歌謡界のトップ・スター小柳ルミ子君。〝私の城下町〟以来、着実にヒットを飛ばし続けて早くも二年。いまや押しも押されぬ地位を築き上げた。「え、ちょっとだけよ？まあ失礼しちゃうわ。中学一年からやってるからうまいのよ。でも歌のヒット飛ばすよりはむずかしいかもネ」（週刊テレビガイドから）

小柳ルミ子も愛好者

大会運営規定100問集

〈第7回〉 日本教職員連盟編

第8章　シャトルおよびネット

第50条　年次大会の使用シャトルおよびネットは次の通りとする。

1・当該年度検定合格シャトルおよびネット

2・世界選手権大会使用シャトル

前項1のシャトルおよびネットは本会が毎年度の初めまでに決定し、適切な方法で公示する。

このため本会競技委員会は用具委員会より当該年度シャトルおよびネット検定の結果についての連絡を受け、大会使用シャトルおよびネットの決定に当る。

問65　大会に使うシャトルやネットはだれが決めるのですか。

答　日本協会の競技委員会が決めます。日本協会の検定合格のものを用いることになっていますから、競技委員会は用具委員会ら検定の結果を聞いて、合格品の中から大会使用品を選ぶことになります。

これは大会ごとに銘柄を指定します。例えば、高校大会は○○社の○○、学生大会は××社の××という具合にですね。

問66　いつ決めるのですか。

答　年度の初めまでに、用具委員会の検定会が行われることになっています。最近は一月中に実施されているようです。これに基く競技委員会の決定も毎年年度の初めまでになされることに定められています。

この決定が公示されるわけですが、その公示は日本協会の機関誌である「バドミントン界」に発表されることと思います。規定には適当な方法で公示すると書いてありますね。

もちろん、その大会の要項にも明瞭に記載されなければなりませんが、全国の心ある指導者やプレーヤーは一日も早く自分に関係のある大会の使用シャトルを知り、できればそれで練習をしておきたいですから。

ネットの方は銘柄による差異はあまりありません。

問67　同じ日本協会の検定合格シャトルでも、何か違う点があるのですか。

答　ありますね。検定は競技規則によって行うのですが、寸法にしても材質にしても、ペース（速調）にしても、幅をもって規定されているのですから、メーカーにより、また銘柄により、大変違うことがあります。

例えば、シャトルは真すぐに飛んでゆくように見えますが、実は右か左かに少しカーブします。日本では世界の標準シャトルといわれるRSLにならって右の方へカーブするよう、各メーカーに頼んであります。

コートの端から端までクリアで飛ばした場合に約30センチから40センチくらいもカーブします。このカーブの率だけとってみても、日本の各メーカーのものの間には、いくらかの差があるのです。これはプレー上、大きな問題といわねばなりません。

問68　IBF（国際連盟）でも検定をするのですか。

答　そういう規定はないようです。それでRSLを検定シャトルといわず、標準シャトルと呼んだのです。これについては第1編の問31（注・競技規則100問集、シャトルの検定、IBFの公認球）を参照して下さい。

問69　一つの大会の使用シャトルは1種類ですか。

答　本当はそれが望ましいですね。IBFも各国のバドミントン協会に対し1大会1銘柄を示唆しています。

しかし、メーカーの生産量その他の問題もあって、どうしても1大会に2、3種類のシャトルを使用するのが現状です。そこで、せめて各大会の男子は○○、女子は××、年令別には△△というふうに、一人のプレーヤーは一回戦から決勝戦まで同じシャトルであってほしいと思います。

×　×　×

組合せおよびシード（規定第51条～60条）

問70　試合の組合せはだれがつくるのですか。

答　日本協会の競技委員会です。そのほか、第51条に従ってその大会に関係のある役員に立ち合ってもらったり、意見を聞いたりする場合が多いようです。関係ある役員というのは、たとえば実業団大会なら日本実業団連盟の理事といったような人を指します。また開催地のバドミントン協会役員も、たいてい加わっているようです。

問71　シードと不戦勝はどう違うのですか。

答　トーナメント戦におけるこの二つのことがらを全く混同している人がいますね。シードはもともと、間引きするということです。それで、何かの根拠があって上位の実力を持っていると推定されるプレーヤーやチームが1回戦や2回戦で顔を合せてしまうことがないように、組合せ上の互いに遠い位置へ散らしておくことをシードする、というようになりました。

不戦勝は参加数が4、8、16、32…というような2の倍数でないときには必ずできるものです。シードとは全く別のことがらです。なお、この不戦勝は1回戦だけに置くことになっています。

第52条　シードは参加者に応じ、なしうる限りそれぞれ下記の数まで行う。ただし明確な資料がある場合はこの数を越えてシードすることが望ましい。

参加者　20まで　第4シードまで
21～50　第8シードまで
51以上　第16シードまで

この大会運営規定100問集は一部百八十円、左記で取り扱っています。百万人のプレーヤー必携の書として一冊、お求め下さい（送料別）
◎東京都練馬区旭丘一の五一
日本教職員連盟、前田耕作方

審査合格用具

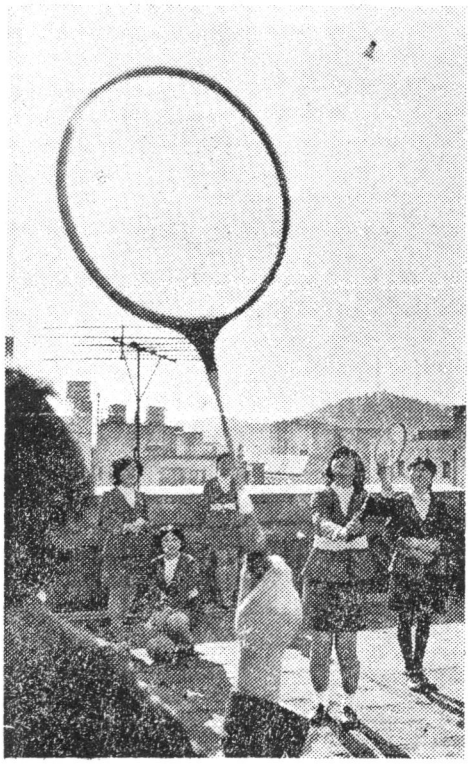
銘柄名		会社名
シャトルの部		
インターナショナルハタチハネエース（1打）	¥2,400	羽立工業株式会社
ナイロンシャルルコック“メイビス”（1打）	¥1,800	株式会社ヨネヤマラケット
ラケットの部		
No.B60 スワニー（SWANNY）	¥3,800	大阪合繊株式会社
No.B56 エクセレント（EXCELLENT）	¥3,500	〃
No.B50 ハイスピード（HY-SPEED）	¥3,500	〃
No.B45 ハイトーマス（HY-THOMAS）	¥3,000	〃
No.B40 フィアレス（FEARLESS）	¥2,500	〃
No.B35 プロフェショナル（PROFESSIONAL）	¥2,400	〃
No.B30 フェニックスインピリアリ（PHOENIX IMPERIAL）	¥1,700	〃
No.9000 ハイステンレス	¥3,800	株式会社ヨネヤマラケット
No.8000 アルミナハイパワー	¥4,000	〃
No.7000 アルミナエース	¥4,000	〃
No.6500 トップエース	¥3,500	〃
No.6000 ファイブエースデラックス	¥3,500	〃
No.5000 ファイブエース	¥3,200	〃
No.3000 カレッヂエイト	¥2,300	〃
No.2000 キングダイヤ	¥1,800	〃
No.1000 クインハート	¥1,500	〃
No.10 スリーエース	¥1,400	〃
No.8 スリーエイト	¥1,200	〃
No.7 ラッキーセブン	¥980	〃
カァルトンラケット 3.7X	¥6,300	メトロレジャー株式会社
カァルトンラケット 3.7	¥6,300	〃
カァルトンラケット 3.9	¥5,700	〃
キャリー 7S フレーム	¥3,500	〃
キャリー 7G	¥2,500	〃
No.B−70 セブンティー	¥5,000	河崎ラケット工業株式会社
No.B−69 ブルーリース	¥3,500	〃
No.1200 スタミナデラックス	¥2,500	〃
No.1000 スタミナ	¥2,200	〃
No.204 ファインストローク（張り上げ）	¥1,400	〃
No.206 エバーウイン（張り上げ）	¥1,200	〃
No.210 ハードショット（張り上げ）	¥1,000	〃
No.201 ウイニングコース	¥1,500	〃
オールスチールハタチグラード	¥3,000・3,500 4,000 3種類	羽立工業株式会社
ハタチダイヤトーン	¥2,000	〃
No.8 ウインナー	¥1,100	株式会社トヨダスポーツ
No.1000 ニューミニ	¥1,500	〃
No.2000 ニューブラック	¥1,700	〃
No.7 シルバー	¥850	〃
ティピカル No.7	¥950	株式会社諸江製作所
ダンデイ No.800	¥1,150	〃
スナップ No.900	¥1,350	〃
シルバーデラックス No.1000	¥1,500	〃
キングクリッパー No.2000	¥1,800	〃

銘柄名		会社名
キングアロー No.2500	¥2,300	株式会社諸江製作所
ゴールドキング No.3000	¥2,800	〃
キングメイト No.3500	¥3,500	〃
ダンロップマックスプレイフォート	¥3,500	〃
ウェアーの部		
No.120 ショートパンツ	¥2,500	株式会社ヨネヤマラケット
No.121 ショートパンツ	¥1,600	〃
No.122 ショートパンツ	¥1,400	〃
No.142 シャツ（男子）	¥1,500	〃
No.141 シャツ（男子）	¥1,300	〃
No.140 クールネックシャツ	¥1,300	〃
No.241 シャツ（女子）	¥1,300	〃
No.242 シャツ（女子）	¥1,500	〃
No.243 ノースリーブシャツ（女子）	¥1,300	〃
No.200 巻きスカート	¥2,000	〃
No.201 フレアスカート	¥1,500	〃
No.203 プリーツスカート	¥1,300	〃
No.532 ショートパンツストレッチ（男子）	¥2,000	河崎ラケット工業株式会社
No.535 ショートパンツ（男子）	¥1,500	〃
No.500 半袖シャツ（女子）	¥1,400	〃
No.510 半袖シャツ（女子）	¥1,000	〃
No.505 ノースリーブシャツ（女子）	¥1,400	〃
No.517 長袖ハイネックシャツ（女子）	¥2,000	〃
No.590 スコート（フレアー）	¥1,700	〃
No.595 スコート（プリーツ）	¥1,300	〃
No.502 長袖シャツ（女子）	¥1,600	〃
No.594 （巻スカート）	¥2,000	〃
No.516 半袖ハイネック（女子）	¥1,800	〃
No.508 半袖ライン入りシャツ（女子）	¥1,600	〃
No.508 半袖ライン入りシャツ（男子）	¥1,600	〃
No.517 長袖ハイネックシャツ（男子）	¥2,000	〃
No.580 半袖シャツ（男子）	¥1,400	〃
No.510 半袖シャツ（男子）	¥1,000	〃
No.502 長袖シャツ（男子）	¥1,600	〃
No.516 半袖ハイネックシャツ	¥1,800	〃
No.422 ゴーセンハーモニウエアープリーツスカート	¥1,400	大阪合繊株式会社
No.425 ゴーセンハーモニウエアープリーツスカート	¥2,000	〃
No.426 ゴーセンハーモニウエアー巻スカート	¥2,000	〃
No.373 ゴーセンハーモニウエアー半袖シャツ	¥1,500	〃
No.370 男子半袖シャツ（無地）	¥1,000	〃
No.371 女子半袖シャツ（無地）	¥1,000	〃
No.400 男子半ズボン（白）	¥1,200	〃
No.427 巻スカート	¥1,600	〃
No.372 ゴーセンハーモニウエアー半袖シャツ	¥1,500	〃
No.405 ゴーセンハーモニウエアーショートパンツ	¥1,800 大1,900	〃
シューズの部		
バドミントンシューズ	¥1,600	株式会社ヨネヤマラケット 河崎ラケット工業株式会社
No.396 バドミントンシューズ		

小島、湯木が順当に王座制す

第16回全日本社会人選手権大会

（5月13日～15日　佐賀市）



第16回全日本社会人選手権大会は五月十三日から十五日までの三日間、佐賀市の県体育館と佐賀工高体育館を会場に開かれた。佐賀県は昭和四十九年に全国高校総体、五十一年には国体を控えており、同県下でバドミントンのビッグ・エベントが行われたのは、これが初めて。

男子シングルス（134人申し込み）は過去2連勝の秋山（山梨）が不参加、本間（愛知）も棄権した。4回戦では梅野尾（前全日本チャンピオン）が敗退、準々決勝では谷口（愛知）が棄権する破乱があった。

驚異、京田（富山）が決勝へ

注目されたのは京田（富山）。梅野尾を下したあと、準決勝では池田（東京）にフル・ゲームのすえ勝ち、ト杯選手を二人までも血祭りにあげた。しかし決勝では実力NO1の小島一平（神奈川）に屈し、惜しくも野望ならなかった。

小島の優勝は十三回大会以来で三年ぶり四度目である。

男子ダブルス（申し込み66組）は本間、秋山の棄権で本間・谷口組、秋山・小島組が不参加となった。前年優勝の関・宮川組（東京）は準々決勝で児島・草島組（東京）に敗れた。決勝は今泉・牧野（富山）と池田・鈴木（東京）という、ト杯代表を持つペア同士の争いとなりフル・ゲームのすえ、今泉・牧野組に栄冠が渡った。

このペアのタイトル獲得は初めて。

女子は相沢・竹中（東京）が参加しなかった。シングルス（申し込み80人）は〝女王〟湯木博江（東京）が圧倒的な強さを見せて初優勝した。一方のパートからは一年ぶりカムバックの柴山（奈良＝現在は東京）が勝ち進んだが、まだ本調子とまではいかず、準決勝で学生時代のチームメート石崎（東京）に敗れた。

「柴山復活、湯木とのペアで王座に」

ダブルス（申し込み40組）は湯木が柴山と組み、決勝では神奈川のベテランと新鋭コンビ杉田・横尾組をしりぞけて勝った。湯木は過去、中山夫人と組んで2連勝しており、彼女個人にとっては3連勝となる。

◇男子シングルス

▽4回戦　小島一平（神奈川）2―0上田勉（千葉）、相川進（石川）2―1越前屋直行（北海道）、田所光男（東京）2―0水川九洋（大阪）、関一誠（東京）2―1牧野光男（富山）

浜谷安裕（東京）2―0楠戸春則（和歌山）、笠井教行（神奈川）2―0浅見初男（大阪）岩田勇（大阪）2―0京谷教治（神奈川）、京田和男（富山）2―1梅野尾昌一（東京）木戸純一（埼玉）2―1森芳

混合ダブルス（申し込み28組）はベテラン同士の堺・天野（東京）と杉田夫妻（神奈川）がせり合ったが、より若い堺組が優勝した。十三回大会以来これで4連勝である。

「毛利年齢別で25個目のタイトル」

年齢別の30歳シングルスは川上洋一（富山）が3連勝、ダブルスは鈴木・吉田（神奈川）が初優勝した。40歳シングルスはユ杯監督の毛利清志（岡山）が過去2連勝の畑（福井）を下し、三年ぶり五度目の優勝。毛利は山上と組んだダブルスの王座もとった。このペアは二年ぶり五度目の栄冠。なお、これで毛利がこの大会で得たタイトル（年令別30歳、40歳の単複）は延べ25個となった。

50歳の部では上口正一（京都）が単複ともに優勝した。シングルスは二年ぶり二度目、ダブルスは三年ぶり二度目である。

夫（岐阜）、谷口寛（愛知）2—0杉田博（神奈川）、鷲尾正一（大阪）2—1草島正治（東京）、鈴木健二（東京）2—1竹原茂（大阪）
池田信孝（東京）2—0松島保（愛知）、宮川秀樹（東京）2—0長谷川進（石川）、丸山法男（大阪）2—1佐藤信夫（東京）、今泉勉（富山）2—0今井茂満（東京）

▽5回戦 小島一平（神奈川）2—0相川進（石川）、田所光男（東京）2—1関一誠（東京）笠井教行（神奈川）2—0浜谷安裕（東京）、京田和男（富山）2—0岩田勇（大阪）
谷口寛（愛知）2—1木戸純一（埼玉）、鈴木健二（東京）2—1鷲尾正一（大阪）、池田信孝（東京）2—1宮川秀樹東京）、今泉勉（富山）2—0丸山法男（大阪）

▽準々決勝

小島 一平 2—0 田所 光男
京田 和男 2—0 笠井 教行
鈴木 健二 不戦勝 谷口 寛
池田 信孝 2—1 今泉 勉

▽準決勝

小島 一平 15—2 鈴木 健二
（神奈川）15—5（東 京）
京田 和男 12—15 池田 信孝
（富 山）15—4 15—12（東 京）

▽決 勝

小島 一平（神奈川）15—8 15—6 京田 和男（富 山）

◇男子ダブルス

▽4回戦 関・宮川（東京）2—0佐倉・鈴木（千葉）、児島・草島（東京）2—0栂野尾・木戸（東京、埼玉）
岩田・滝野（大阪）2—0前薗・斉藤（鹿児島）、今泉・牧野（富山）2—0水川・浅見（大阪）
鈴木健・池田信（東京）2—0前野・竹原（鹿児島）、長谷川・相川（石川）2—0遠藤・鷲尾（大阪）
竹原・小野（大阪）2—0山本・近藤（福井）、浜谷・田所（東京）2—1堺・宮永（東京）

▽準々決勝 児島・草島（東京）2—1関・宮川（東京）、今泉・牧野（富山）2—0岩田・滝野（大阪）
鈴木健・池田信（東京）2—1長谷川・相川（石川）、浜谷・田所（東京）2—0竹原・小野（大阪）

▽準決勝

今泉・牧野 16—17 児島・草島
（富 山）15—8 15—11（東 京）
鈴木・池田 15—4 8—15 浜谷・田所
（東 京）15—4（東 京）

▽決 勝

今泉・牧野（富山）7—15 15—6 15—3 鈴木・池田（富 山）

◇女子シングルス

▽4回戦 湯木博江（東京）2—0天野博江（岐阜）、栗原えり子（千葉）2—1秋本幸子（大阪）、横尾節子（神奈川）2—0中田良子（秋田）、紺野幾子（愛知）2—1田村静子（北海道）
石崎茂子（東京）2—0尼崎初子（兵庫）、池田静江（愛知）2—0佐久間雅子（埼玉）、杉田良子（神奈川）2—1柿木彰子（長崎）、柴山きよ子（奈良）2—0池尻千恵子（千葉）

▽準々決勝

湯木 博江 2—0 栗原えり子
紺野 幾子 2—0 横尾 節子
石崎 茂子 2—0 池田 静江
柴山きよ子 2—1 杉田 良子

▽準決勝

湯木 博江 11—1 紺野 幾子
（東 京）11—5（愛 知）
石崎 茂子 11—4 柴山きよ子
（東 京）11—7（奈 良）

▽決 勝

湯木 博江 11—7 石崎 茂子
（東 京）11—5（東 京）

◇女子ダブルス

▽3回戦 湯木・柴山（東京・奈良）2—0貴田・気谷（大阪）、池尻・栗原（千葉）2—0横田・高井（東京）



池田・宮内（愛知）2—1柿本・樋口（長崎）、天野・広沢（岐阜）2—0三田・寺見（岡山）

杉田・横尾（神奈川）2—0尻崎・牧野（兵庫）、柿崎・時田（千葉）2—1秋本・仲西（大阪）

高橋・宮本（東京）2—0中田・沢木（秋田）、石崎・今田（東京）2—0久保田・餌取（大阪）

▽準々決勝　湯木・柴山（東京、奈良）2—0池尻・栗原（千葉）天野・広沢（岐阜）2—1池田・宮内）

杉田・横尾（神奈川）2—0柿崎・時田（千葉）、石崎・今田（東京）2—1高橋・宮本（東京）

▽準決勝

湯木・柴山（東京・奈良）15—2 15—6 杉田・横尾（神奈川）15—7 15—12 天野・広沢（岐阜）15—8 15—12 石崎・今田（東京）

▽決勝

湯木・柴山（東京・奈良）15—3 15—6 杉田・横尾（神奈川）

◇混合ダブルス

▽準々決勝　堺・天野（東京岐阜）2—1遠藤・秋本（大阪）吉田・山本（神奈川）2—1鈴木・石崎（東京）

杉田・杉田（神奈川）2—0池田・坂口（東京）、山本洋・高橋美（東京）2—0明間・天野（東京）

▽準決勝

堺・天野（東京・岐阜）15—9 15—5 吉田・山岸（神奈川）15—0 15—0 山本・高橋（東京）

▽決勝

堺・天野（東京・岐阜）7—15 15—11 15—5 杉田・杉田（神奈川）

◇男子30歳以上シングルス

▽準々決勝　鈴木勝之（神奈川）2—0川上洋一（富山）、春武俊一（大分）2—0池田智彦（福岡）、北方匡（石川）2—1吉田邦夫（神奈川）、遠藤啓治（神奈川）2—0竹下勝洋（長崎）

▽準決勝

鈴木　勝之（神奈川）15—0 15—2 春武　俊一（大分）遠藤　啓治（神奈川）15—1 15—6 北方　匡（石川）

▽決勝

鈴木　勝之（神奈川）15—8 15—3 遠藤　啓治（神奈川）

◇男子30歳以上ダブルス

▽準決勝

鈴木・吉田（神奈川）15—1 15—4 木下・古川（福岡）佐竹・春竹（大分）15—5 15—7 10—15 香島・竹下（長崎）

▽決勝

鈴木・吉田（神奈川）不戦勝 佐藤・春竹（大分）

◇男子40歳以上シングルス

▽準決勝

畑　忠雄（福井）15—12 15—12 本郷　節生（熊本）毛利　清志（岡山）15—2 15—3 浜中　誠（愛媛）

▽決勝

毛利　清志（岡山）15—4 4—15 15—11 畑　忠雄（福井）

◇男子40歳以上ダブルス

▽準決勝

浜中・畑（愛媛・福井）15—9 18—14 森脇・山崎（東京）毛利・山上（岡山）15—2 18—13 尾崎・八木（兵庫）

▽決勝

毛利・山上（岡山）15—4 15—2 浜中・畑（愛媛・福井）

◇男子50歳以上シングルス

▽決勝

上口　正一（京都）15—3 15—4 小田　金光（熊本）

◇男子50歳以上ダブルス

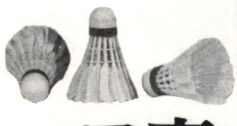
▽決勝

上口・中山（京都・東京）15—3 15—11 平崎・小田（熊本）

水鳥 検定合格球

ファストゴールド

ファストシルバー



ファスト印シャトル
コック　製造発売元

有限会社　ジャワ商会

山形市六日町7の28
電話　0263（22）3994（代表）

社会人4－1で学生下す

第六回全日本社会人・学生対抗競技会は、例年より遅れて七月一日、東京・杉並区立永福町体育館で行なわれた。

この大会は東京12チャンネルテレビの後援。社会人と学生の優秀選手をピックアップ、優劣を争うもので、年の始めに開かれる女子チャンピオンズ（こちらは勝ち抜き戦）の男子版。

ことしは学生界の大物が大量卒業したばかりで学生陣は手薄す。未来の大物といわれる中井、辻（法大一年、18歳）も登場したが、中井はシングルスで母校の先輩・田所（電電東京）から第2ゲーム10点をとったのが精いっぱい。二人のダブルスも日本のトップペア秋山・小島が相手では、やはり通じなかった。

結局、学生陣は飯野・土田組（日大）が池田・栂野尾組（電電東京、ヨネヤマ）を下し、1勝をあげただけ。4勝1敗で社会人が勝ち、キャリアの差をまざまざと見せつけた。

これで通算の対抗成績は社会人の4勝2敗となった。

社会人4（単3－0 複1－1）1学生

▽シングルス

○小島一平（ヨネヤマ）15－9 15－7 舟山敏彦（日大4年）
○田所光男（電電東京）15－7 15－10 中井基夫（法大1年）
○本間順次（トヨタ自工）15－6 15－10 尾崎幹雄（中大4年）

▽ダブルス

池田信孝（電電東京）6－11 15－8 飯野佳孝○（日大3年）
栂野尾昌一（ヨネヤマ）9－15 土田証雄（日大2年）
○小島一平（ヨネヤマ）15－10 中井基夫 辻 敏弘（秋山紙店）（法大1年）



茨城県

◆第23回全日本実業団選手権大会（7月8日～13日＝石岡市立石岡小学校体育館ほか）

◇男子団体戦

▽一回戦

東京製鋼スチール（岩）3－2埼玉県庁（埼）、三菱製紙八戸（青）3－1いすず川崎（神）、大日本インキ（千）3－2日産自動車吉原（静）、岡山市役所（岡）2－3諏訪精工舎（長）、三菱重工長崎（長崎）3－2金沢市役所（石）、鹿児島県庁（鹿）2－3豊田織機（愛）、香川県庁（香）1－3三菱電機群馬（群）、三菱化成四日市（三）3－2日本鋼管福山（広）、阪急電車（大）2－3日立化成（茨）、住友化学菊本（媛）0－3日立戸塚（神）、丸善石油千葉（千）3－2ファウドラー（兵）、シオノギ製薬（大）3－1富士重工群馬（群）、三菱電機伊丹（兵）3－2昭電大町（長）、小松製作所栗津（石）3－0三菱油化四日市（三）、大建工業井波（富）0－3大阪合繊（大）、関東自工（神）3－1三菱重工名古屋（愛）、富士重工（静）3－0日石新潟（新）、富士重工宇都宮（栃）3－1東レ滋賀（滋）、十条製紙秋田（秋）1－3日立茂原（千）、海自衛舞鶴（京）0－3三井造船玉野（岡）、三電長崎（長崎）3－1東洋インキ（埼）、丸善石油下津（和）3－0住金鹿島（茨）

▽二回戦

高岡市役所（富）3－0東京製鋼スチール、大津市役所（滋）0－3東京トヨペット（東）、神鋼尼崎（兵）2－3三菱製紙八戸、大日本インキ0－3新日鉄名古屋（愛）、スワロー化研（大）3－0諏訪精工舎、沖電気（東）3－0立石気機（京）、電電北海道（北）3－0三菱重工長崎、ヨネヤマラケット（東）3－0豊田織機、古河金属（兵）3－1日本曹達二本木（新）、福井銀行（福）3－0三菱電機群馬、三菱横浜（神）3－1三菱化成四日市、北辰電機（東）3－0日立化成、日立戸塚2－3住友金属和歌山（和）、三菱自工京都（京）1－3津田駒工業（石）、トヨタ自工（愛）3－0丸善石油千葉、電電東京（東）3－0シオノギ製薬、茨城県庁（茨）3－1丸善石油松山（媛）、横浜市役所（神）3－1三菱電機伊丹、日本電装（愛）3－0小松製作所、新日鉄広畑（兵）3－1大阪合繊、関東自工3－0東京都庁（東）、高松市役所（香）1－3島津製作所（京）、富士市役所3－1日立製作所水戸（茨）、電電近畿（大）3－0富士重工宇都宮、石川島播磨重工（東）3－2大日本電線（兵）、日本石油（神）3－0日立茂原、国鉄北海道総局（北）3－2三井造船玉野、名古屋鉄道（愛）3－1三電長崎、神鋼神戸0－3不二越（富）、新日鉄釜石（岩）2－3富士電機三重（三）、河崎ラケット（東）3－1丸善石油下津

▽三回戦

高岡市役所3－0東京トヨペット、三菱製紙八戸3－1新日鉄名古屋、スワロー化研3－0日立茨城、電電北海道3－0沖電気、ヨネヤマラケット3－0古河金属、三菱横浜3－1福井銀行、北辰電機3－2住友金属和歌山、トヨタ自工3－0津田駒、電電東京3－0茨城県庁、横浜市役所3－2日本電装、関東自工3－0新日鉄広畑、富士市役所3－0島津製作所、電電近畿3－0石川島播磨重工、日本石油0－3国鉄北海道総局、不二越3－0名古屋鉄道、河崎ラケット3－0富士電機三重

（本大会の男子団体戦四回戦以降のスコアと、女子団体戦のスコアは、次号以降の本欄に掲載いたします）

今月のことば

プレーの精度を高めるにはより高いレベルの目標を設定して、限りなく反復練習を続けることが一番だ――ポルトガルのプロ・サッカー、リスボン・ベンフィカ　ジャデロ監督

入るは易く、進むは難し

みずからの意欲が最後を決める

もちろんバレーボール（女子）のことである。

筆者はまだ耳にしたことはないが、おそらくは我々バドミントンの世界にも、マスコミに刺激され、あるいは名選手の名プレーを見たことが強い一つのきっかけとなって〝この道〟に進んだ人がいることだろう。

英国の作家サマセット・モームは〝月と六ペンス〟の前書きの中で、こう述べている「毎年何千、何万の書物が、書店の棚にうず高く積まれたまま、ほこりをかぶって消えていく…」。書物をスポーツマンに置き換えてみよう。あなたも、自分自身を含めて？そうだなぁ、とタメ息をつくに違いない。なにかにあこがれて、感動して、人はそれぞれのやりたいことに、取り組む。

だが、どんな情熱的な人でも一生、恋のムードにひたり続けていられないと同じく、感動も長くは続かない。現実の厳しさの前に初志を放棄してしまいがちなものだ。かくして、春先、クラブに入ったものが五十人いても、夏休みが終わってみると残っていたのは、ほんの一握りという実例が、みなさんの毎度おなじみ、となってしまう。

私は踏みとどまった。よろしい。しかし、それは、まだ第一の壁を突破しただけのことにすぎない。レギュラーになった。結構、だが、第二の壁を越えただけだ。学校ナンバーワン、いやまだまだ。県下一、それでもまだ……世界一になっても、その座を維持するために、世界第二の人よりも何倍かの努力と苦しみを味わうのだ。

もとより、スポーツの目的はさまざま。世界一になるのだけが能ではない。しかし、無目的が目的だなどといって、なにも努力しないのでは、バドミントンやスポーツに限らず、なんの楽しみも得られるはずがない。

有能な人は、どんな立場に置かれても、自分で仕事を見つけ出し〝作り出す〟という。人に教えられ、引っぱられて動いたり仕事をしたりするのなら、家畜の方がまだマシ。自分で考え、道を探し、新しい可能性を発見するからこそ、人生は苦しくとも生きられるのだ。

近年流行の過保護。いつも引き合いに出される話に、大学の入学試験に母親がぺったりついていく、というのがある。しかし、過保護ママでも、我が子の代えダマで試験は受けられないのだ。バドミントンには先輩も指導者もいるが、本当はみずからの意欲が最後を決めるのだ。

編集室から

○…梅雨から酷暑、そしては秋立つ季節。まったく〝光陰矢の如し〟と古人はうまいことをいったものだ。待望の第一回日中対抗戦も、この号が出るころには始まっているだろう。

話の煮つまるのが遅く、日本の候補メンバーの合宿入りなども、ユ杯やト杯の時とくらべ、大部、おくれたため、なんとか今号に収録するのがせいいっぱい。第二次合宿が、そのあと、八月の十日から東京で開かれたが、これは、もはや間に合わなかった。

こうした迎撃態勢に伴なって日本代表の選考発表も、本号の編集がほぼ出来てから。紹介することが出来ず、残念だった。中国側メンバーも入手は八月の二十日を過ぎてから。これだけはなんとしても、と記事の一部を割愛して、急ぎ組み直した。その努力だけは買って下さい。

○…ところで中国の実力はどうか。44号でもお伝えしたが、丁度、今年初めの中国チーム訪英記事を横文字の中から見つけたので、要旨を日本語にしてみた。シングルスにくらべ、ダブルスがそれほど強くはなさそうという。事実、データーはそうなっているが、日本もダブルス必ずしも強くはない。いずれにしろ、本誌の記事等を頭に入れて実際の試合の観戦（テレビ）の参考とされたい。

○…この一、二号、いわゆる技術講座のページが少くなってしまった。日本協会にお願いして指導委員会に長期的にやってもらう手はず（常務理事会ではそうなっている）だが、諸先生方、お忙しいとみえて、一向に実際は進まない。空白にしてはおけないので、やむを得ぬ場合は、再度、編集部が企画する必要がありそう。

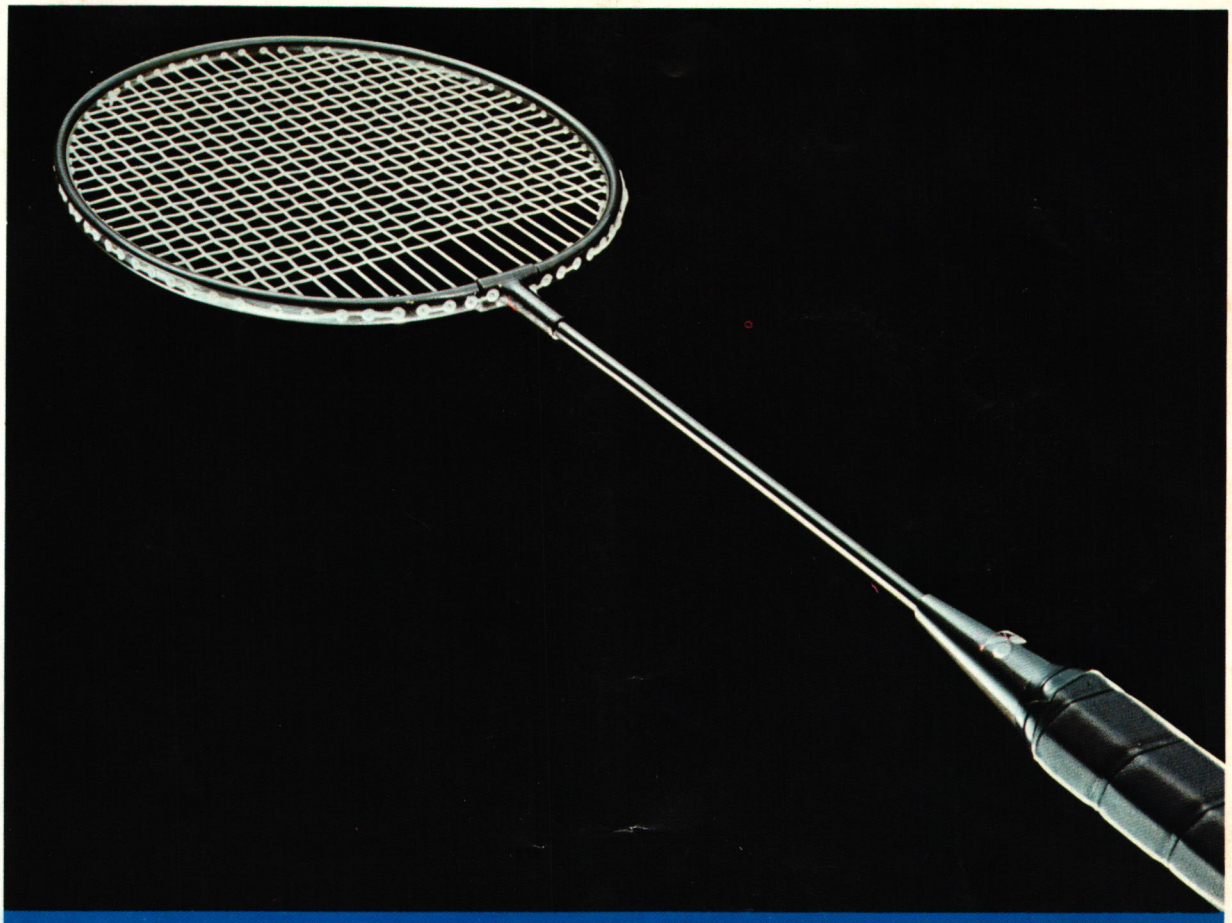
○…次号は瀬戸君編集。沖縄国体、インターハイなどを消化する予定で、それから、日中戦の特集号です。

【バドミントン界】第46号
昭和47年7月25日　印刷
昭和48年8月1日　発行
編集兼発行人　川端昇市
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線二二五一）
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九
明宏印刷株式会社
定価　一部　百三十円

©無断転載を禁ず


SunBatta
SUNBATTA
SUNBATTA KING
SUNBATTA
It's Excellent in the Court.
SUNBATTA KING, KING MATE
SunBatta
TOKYO
サンバタ
MOROE SEISAKUSHO CO.,LTD.
46-8, Sasazuka 2-Chome, Shibuya-ku, Tokyo, Japan
Phone : Tokyo (03)377—4401

月刊「バドミントン界」第46号
昭和四十八年八月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日 第三種郵便物認可
発行所 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一 日本バドミントン協会
定価百三十円



いま、鋭さのブラッキー。

黒のラケット、ブラッキー。かたい沈黙を破っていま登場です。さあ、シャフトにご注目ください。長目です。細身です。材質はすぐれたステンレス。ブラッキー、それは攻撃のラケット。シャトルコックをとらえる一瞬、鋭くしなります。敏感な弾力です。敵に反撃のチャンスを与えないほど、鋭い攻撃力が生まれます。これは、いわばムチの原理。バドミントンを科学するヨネヤマが、研究を重ねて、ついに完成させた鮮明な成果です。ブラッキーのよさは、手にしてみればすぐわかります。いまあなたを待つ、ブラッキー。あなたとの出会いがあなたになにをひき起すのか。それが楽しみです。

No. 8100 BLACKEN

《新製品》

No.8100（ブラッキー）……¥5,000

YONEYAMA